



いのちの共生を、未来へ
COP10/MOP5
愛知・名古屋 2010



COP10参加者の皆さまへ

一期一会のおもてなし。愛知・名古屋で豊かな時間を。

今あなたと出会っているこの時間は、再び訪れることのないただ一度の時間。だからこそ、この時間を大切に思い、誠意を尽くしたおもてなしをしたい。それが、日本の伝統文化である茶道に伝わる「一期一会」の精神です。開催地「愛知・名古屋」では、世界中から訪れるCOP10参加者の皆さまを心より歓迎し、「一期一会」の精神で最上のおもてなしをしたいと考えています。皆さまが「愛知・名古屋」で豊かな充実した時間を過ごせるようにとの想いを込め、地域の様々な情報を掲載したハンドブックをお届けします。このハンドブックが、皆さまのより良き滞在のお手伝いとなることを願っています。

Welcome to CBD COP10, 2010

Welcome to CBD COP10, 2010



AICHI NAGOYA

Aichi-Nagoya

ご挨拶 -ようこそ、愛知・名古屋へ-

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催と、皆さまのご来訪に対し心から歓迎申し上げます。

このたび、愛知・名古屋で開催されるCOP10は、193の締約国から8,000名を超える方々が参加し、条約の目的の達成に向けた国際的な取組等について話し合う、今世紀に入って日本で開催される最大規模の国際会議です。

私たち愛知・名古屋は、会議の成功に向け、ホストとして地域を挙げて会議の運営を支援するとともに、心をこめたおもてなしを通じて、この地域、さらには日本の良さを感じていただけるよう準備を進めてまいりました。

また、会議の終了後も、生物多様性に関する取組や活動が地域で継続し、根付いていくよう、NGO/NPO、企業、学術など、様々な立場の方々と一緒に普及啓発活動に取り組んでまいりました。

開催地である愛知・名古屋は、豊かな自然と多様な生き物の恵みを活かしながら、個性的な伝統文化を育み、世界有数のものづくりの拠点として発展してきた地域です。私たちは、COP10を機に、この愛知・名古屋の人と自然の関わりを地域モデルとして発信するとともに、自然と共生する社会のあり方について世界の方々と議論し、その成果を共有していきたいと考えています。

申し上げるまでもなく、COP10は、生物多様性の保全と持続可能な利用に向け、締約国が国際的な枠組みを決定する会議です。しかし、会議の決議内容はもとより、NGO/NPO、企業、学術、そして一般の方まで多くの方々が生物多様性をそれぞれの共通の課題として認識し、将来にわたって継続的に行動・活動ができてこそ、会議は成功したといえると考えています。

私たち愛知・名古屋は、多様な方々にCOP10や関連する事業に参加いただくことで、いのちと暮らしを支える生物多様性をテーマとするこの国際会議を、真の成功へと導いていきたいと考えています。

そして、皆さまの愛知・名古屋でのひとときが素晴らしい、かつご満足いただけるものとなることを心より願っています。



会長
愛知県知事
神田 真秋



会長代行
名古屋市長
河村 たかし



副会長
名古屋商工会議所会頭
岡田 邦彦



副会長
経済法人中部経済連合会会長
川口 文夫

目次

愛知・名古屋の紹介

- 02 愛知・名古屋の歴史
- 06 愛知・名古屋の文化
- 10 愛知・名古屋の産業
- 12 愛知・名古屋の環境の取組

地域案内情報

- 20 名古屋城エリア
- 21 名古屋駅エリア
- 22 栄・伏見エリア
- 24 金山・白鳥エリア
- 25 近郊エリア
- 26 自然
- 28 教育・芸術
- 30 歴史・文化
- 31 産業
- 32 味
- 33 土産

COP10関連情報

展示会・フェア・会議

- 34 生物多様性交流フェア
- 36 地球いきものEXPO in モリコロパーク
- 38 COP10情報発信ステーション in オアシス21
- 39 生物多様性国際自治体会議/生物多様性・里山知事サミット
- 40 COP10ビジネスウィーク/ビジネスと生態系に関する国際対話会合/
企業経営層と各国閣僚級との懇談会&レセプション/メッセナゴヤ2010/生物多様性フォーラム
- 42 子どもCOP10あい・なごや国際子ども環境会議/生物多様性国際ユース会議 in 愛知2010
- 43 COP10 社会と学術の対話フォーラム「生物多様性を主流に」

エキスカーション

- 44 エキスカーション

関連イベント

- 70 名古屋開府400年祭 関連催事/名古屋まつり/大山車まつり/清須越夢歩き
- 72 名古屋城秋イベント
- 74 白鳥庭園関連行事
- 75 徳川園市民茶会/ナゴヤ堀川歴史観光クルーズ/堀川ウォーターマジックフェスティバル
- 76 東山動植物園エキスカーション/生物多様性ツアー
- 77 藤前干潟ふれあいデー2010/名古屋能楽堂定例公演
- 78 あいちトリエンナーレ2010
- 79 人と自然の共生国際フォーラム/日伊共同セミナー
- 80 地球のいのち交流ステーション/植樹イベント「モンゴリ森守プロジェクト」/もりの学舎

環境配慮

- 82 愛知・名古屋の環境配慮

会議物品

- 86 コングレスグッズと記念品

滞在情報

交通案内

- 88 路線図
- 90 地下鉄の利用方法
- 92 メッセナゴヤ2010、藤前干潟へのアクセス
- 93 愛・地球博記念公園へのアクセス/
中部国際空港からのアクセス
- 96 案内所
- 98 タクシーの乗り方(外国人向け)

お役立ち&注意情報

- 99 路上禁煙
- 100 日常会話

地図

- 102 広域図
- 104 市街地地図/名古屋駅・伏見周辺
- 106 市街地地図/伏見・栄周辺
- 108 市街地地図/金山周辺
- 109 市街地地図/名古屋国際会議場周辺



日本の真ん中、武将のふるさと。

日本の国土のほぼ中央に位置し、かつて尾張国、三河国と呼ばれた「愛知」。都のあった畿内と関東を結ぶ東西交通の要衝であり、数多くの歴史の舞台となりました。

(愛知・名古屋の歴史 大正時代文庫蔵)

古来より、豊かな広がりを思わせる愛知の風土。

「愛知」の地名は8世紀に編まれた万葉集にある「桜田へ 鶴鳴きわたる 年魚市湯 潮干にけらし 鶴鳴きわたる」の「年魚市湯」に由来するといわれています。「年魚市湯」は現在の名古屋市熱田区付近の入り江といわれています。「あゆ」には「湧き出る」や「春の風」の意があり、湧き水の豊富な地や、海の彼方から風が幸せを運んでくる地など様々な解釈があります。いずれにしても、この地域が自然に恵まれた豊かな地だったことを思わせます。



宮の渡し公園(現在の名古屋市熱田区付近)



熱田神宮

神話から三英傑まで、愛知を彩った人物たち。

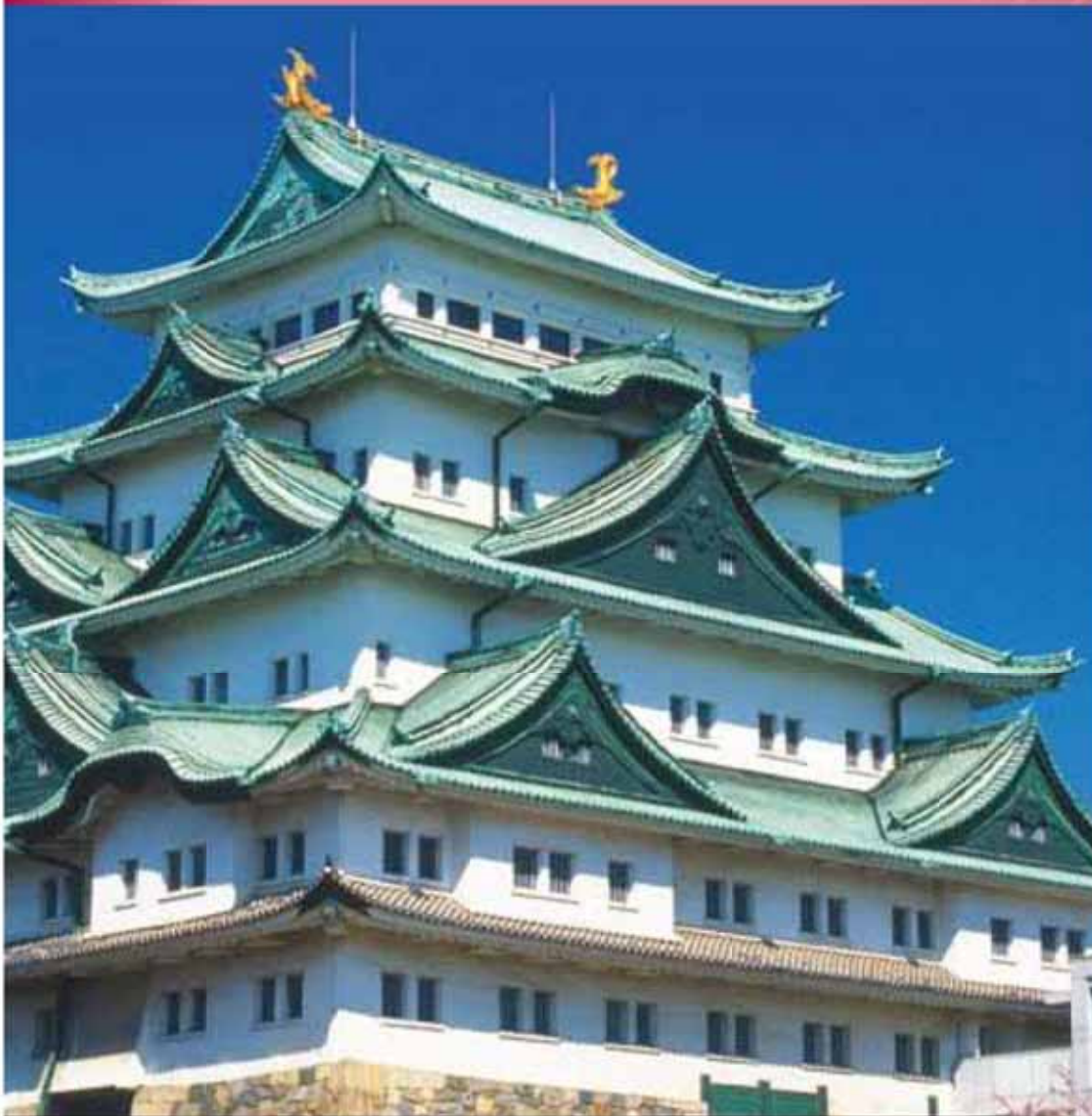
日本の神話に登場する日本武尊がもっていたとされる草薙神剣。それが納められた熱田神宮。この周辺には、鎌倉幕府初代将軍、源頼朝の生誕地といわれる場所があります。16世紀になると日本各地に割拠した戦国大名の中から、尾張の織田信長が登場し、天下統一をめざします。その後を継いだ豊臣秀吉、そして三河の徳川家康が遂に全国を統一して江戸幕府を開きます。この3人は「三英傑」と呼ばれ、愛知に深い関わりを持っています。

名古屋城の築城で花開く産業やものづくり文化。

「三英傑」の活躍とともに、配下であった愛知出身の武将たちも日本各地を治めるようになりました。「愛知は武将のふるさと」といわれる理由です。江戸時代になると、尾張は江戸と京を結ぶ重要な地域として尾張徳川家が治めるようになりました。天下普請と呼ばれる全国の大名を動員した大工事で名古屋城が築かれ、城下町が発展。築城やまちづくりで多くの職人たちも集まり、産業やものづくり文化が花開いていきます。



三英傑
上/織田信長(神戸市立博物館蔵) 中/豊臣秀吉(高台寺蔵)
下/徳川家康(大阪城天守閣蔵)



家康が生んだ街、名古屋開府400年。

現在の名古屋の繁栄は、1610年の名古屋城築城と当時の尾張地方の中心地であった清須からの町ぐるみの移住に始まります。

それから4世紀。2010年、名古屋は開府400年を迎えました。

町がまるごと引っ越し。
大規模な城下町づくり。

1600年、関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康は、大坂城の豊臣家との合戦に備え尾張に一大拠点を築きます。それが名古屋城です。当時の尾張の中心は清須でしたが、低地による水害や大軍が収容できないなどの問題があり、陸路海路に通じた名古屋が選ばれました。1610年、西国大名に命じて築城工事が始まり、天守や御殿が完成。清須から武士をはじめ町人や寺社まで移住する大規模なまちづくりが進められました。



花色日の丸具足(徳川美術館蔵)

名古屋の象徴、近世武家文化の結晶、名古屋城。

名古屋の象徴である金鯱は、徳川家の威光を示すものとして、築城当時から名古屋城天守閣の屋根に飾られていました。本丸御殿などの壁や襖には豪華な障壁画が描かれ、華やかな近世武家文化を伝えてきましたが、第二次世界大戦の戦災により天守閣や金鯱とともに焼失。しかし、1959年に天守閣が再建され、現在は観光のシンボルとなっています。また、本丸御殿復元工事も2017年の完成をめざして進行中です。



名古屋城本丸御殿復元イメージ図

華やかに、賑やかに。「芸どころ」名古屋の産声。

徳川家康の九男義直を初代藩主に、名古屋は徳川家を支える御三家の筆頭尾張62万石の城下町として栄えます。江戸時代の中期(1730年頃)には、七代藩主宗春が当時の幕府の質素倹約方針に反対して名古屋城下に芝居小屋などを誘致し、江戸、京、大坂に劣らない大都市へと変貌しました。この時代、芝居や能・狂言、茶の湯などの芸文化が花開き、現在の「芸どころ」名古屋の起源となっていくます。



歌舞伎図巻(徳川美術館蔵)



暮らし、祭り、伝統の美。いきいきと。

人々の暮らしから生まれ、歴史が育んだ愛知の文化。県内各地には様々な祭り、民俗芸能が伝わります。また、国宝や文化財などを展示する日本でも有数の美術館、博物館も数多くあります。

豊田祭りの山車

人々が守り育ててきた、暮らしの中の文化。

南は伊勢湾を隔てて太平洋に面し、北は岐阜県や長野県の山間部に連なる愛知。海で、山で、街で、特徴のある文化を今も見ることができます。例えば、「三州足助屋敷」(豊田市)では、明治から昭和の山間部における農家とその暮らしを再現し、機織り、竹細工など伝統的な手仕事を体験することができます。また、夏から秋にかけて行われる「木曽川うかい」(犬山市)は、1300年の歴史を誇り古典的な漁法を今に伝えています。



木曽川うかい

豊作や健康を祈り、感謝する、伝統の祭り。

愛知の文化のひとつに華麗な山車祭りがあります。からくり人形や精緻な彫刻、刺繍幕で飾られた山車は、愛知のものづくりの伝統を今に伝え、春や秋に県内各地の祭りで見ることができます。その他、数千人の裸男が御利益を求めてぶつかりあう「国府宮はだか祭」(稲沢市/2月)。子宝と安産の神を奉る田縣神社(小牧市)や大縣神社(犬山市)の「豊年祭」(3月)など、珍しい祭りがあります。



国府宮はだか祭

貴重な文化遺産を見学、体感できる施設も充実。

愛知にはここにしかない貴重な文化遺産があります。尾張徳川家に伝えられた、江戸時代(1603年~)の大名道具を収蔵・展示する「徳川美術館」(名古屋市)、日本の近代化が始まった明治時代(1868年~)の建築物などを全国から移築・展示している「博物館明治村」(犬山市)、繊維機械や自動車産業の歴史を実際に使用された機械で紹介する「トヨタテクノミュージアム産業技術記念館」(名古屋市)などが知られています。



博物館明治村

歴史と未来が融合する、 メイド・イン・ナゴヤ。

江戸時代から、明治・大正時代へ。

名古屋は産業・商業都市として賑わい、様々な文化を生み出していきます。
そして21世紀の今も、メイド・イン・ナゴヤの文化を発信し続けています。



名古屋まつり 徳川家康

名古屋近代化の息吹が残る文化のみち。

名古屋城から徳川園にかけて、江戸時代に武家屋敷があった地区は、名古屋近代化の歩みを伝える「文化のみち」として整備されています。明治時代になると、武家屋敷は、輸出陶磁器産業など当時の先端産業の工場や起業家たちの屋敷へと変貌します。日本の女優第一号の川上貞奴、陶磁器産業で活躍した井元為三郎、発明王豊田佐吉を支えた豊田佐助などに縁の深い建築遺産を見ることができます。



文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)

日本のど真ん中、 祭りの興奮で賑わう。

名古屋を代表する祭りのひとつが、夏の「にっぽんど真ん中祭り」です。1999年に学生や市民の自発的な活動から始まった新しい祭りですが、回を重ねることに盛り上がり、来場者数200万人超。参加チームがオリジナル衣装で手に鳴子を持って踊りを競います。毎年秋に開催される「名古屋まつり」は、名古屋に縁のある戦国武将や姫君、鉄砲隊のパレードなどで賑わいます。



にっぽんど真ん中祭り

新しい文化を今日も世界に発信し続ける。

コスチュームやメイクでマンガやアニメのキャラクターになりきる「コスプレ」。名古屋はそのメッカとして毎年「世界コスプレサミット」を開催し、世界各国からの参加者で賑わいます。また、ひつまぶし、きしめん、天むす、みそかつ、小倉トーストなど、名古屋で愛される食文化も「なごやめし」と呼ばれ、全国的に有名です。古さと新しさが同居する名古屋の文化をぜひ体感してください。

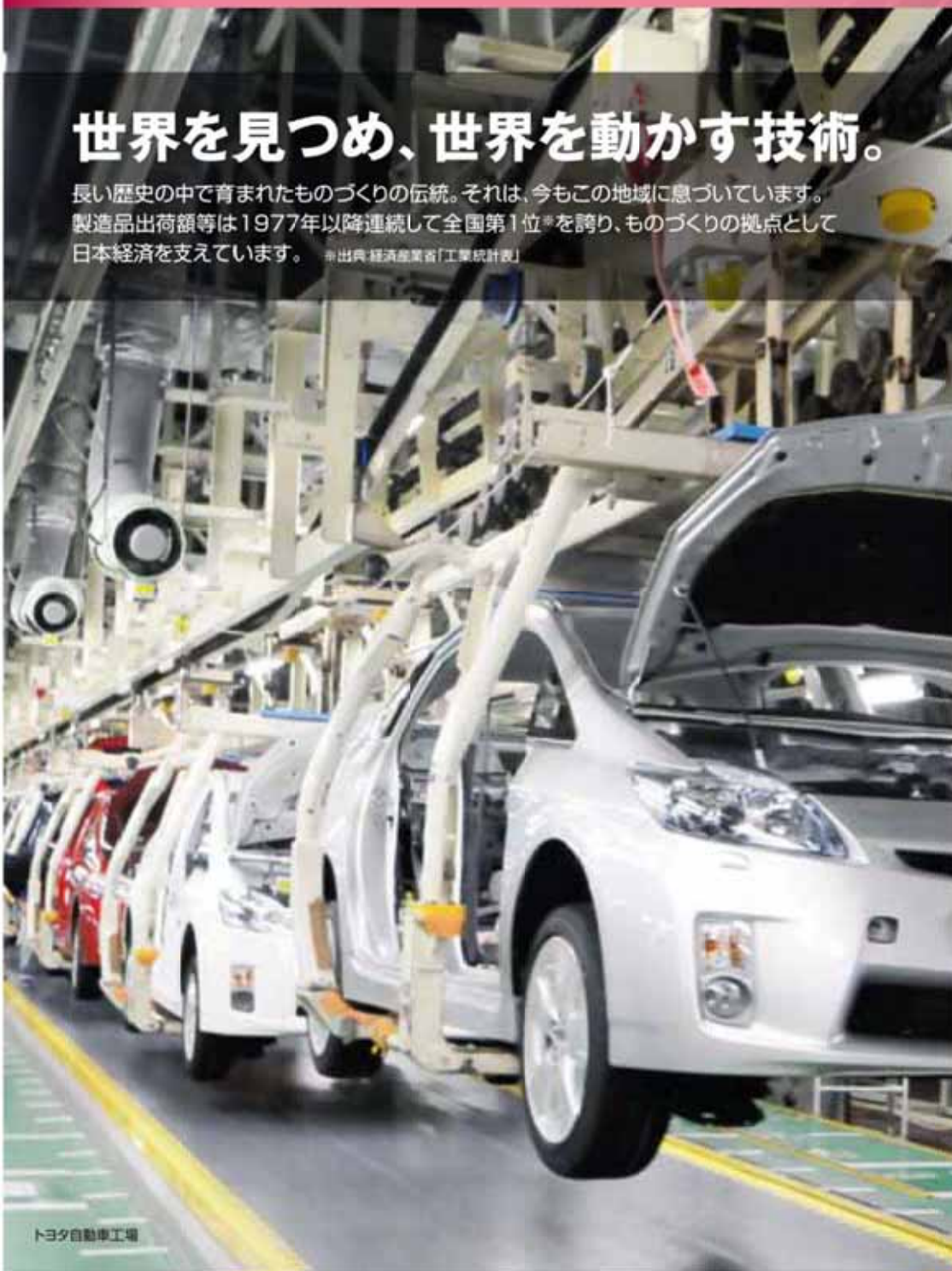


世界コスプレサミット



世界を見つめ、世界を動かす技術。

長い歴史の中で育まれたものづくりの伝統。それは、今もこの地域に息づいています。製造品出荷額等は1977年以降連続して全国第1位*を誇り、ものづくりの拠点として日本経済を支えています。 ※出典 経済産業省「工業統計表」



トヨタ自動車工場

「からくり」から機械へ。
つねに時代の最先端。

江戸時代に当時の最新技術を駆使してつくられた「からくり人形」。細かな動作をしたり、逆立ちをしたり、様々な仕掛けで人々を驚かせました。その技術は、歯車で動く和時計の技術と融合して発展。繊維産業、自動車産業など地域の主要産業へとつながっていきました。また、古くから発達していた瀬戸焼、常滑焼などの窯業も、磚子、タイル、衛生陶器、ファインセラミックスなどの新たな分野を生み出していきました。



からくり人形

自動車で有名なこの地域は、
実は宇宙にも近い。



トヨタAA型乗用車

1963年に、豊田自動織機が社内に自動車部を設置したのが現在のトヨタ自動車の始まりで、その後「トヨタAA型乗用車」などが製作されました。そこからこの地域の自動車産業は始まり、現在ではハイブリッドカーなどの最新技術で世界の自動車産業をリードしています。この地域はまた、航空宇宙産業の国内最大の生産拠点です。三菱重工業や富士重工業によるボーイング機の機体生産や、国産宇宙ロケットの開発にも関わっています。

ものづくりの情熱で、
次世代産業分野へ。

一宮を中心とする尾張の綿織、瀬戸・常滑の窯業、岡崎の八丁味噌、知多の醸造業などの伝統産業が営まれながらも常に技術革新に努め、新しい市場価値を生み出し続けてきました。このような、ものづくりへの情熱と飽くなき技術への挑戦は、未来の地球環境を考えた次世代自動車や新エネルギー産業、さらにはロボット開発などの分野にも広がっています。

トヨタパートナー
ロボット

瀬戸染付焼

愛知の環境の取組

愛・地球博の開催と海上の森の保全

2005年に愛知県で“自然の叡智”をテーマに開催された2005年日本国際博覧会(略称:愛知万博、通称“愛・地球博”)は、愛知県の人々にとって環境についての意識や取組のきっかけとなるイベントでした。当初、愛・地球博は、瀬戸市にある「海上の森」という里山を会場として開催し、博覧会終了後の会場跡地には住宅地、学術研究機関を設置する構想でした。しかしながら、海上の森は東海地方にしか生育しないシデコブシなどの希少な植物や絶滅危惧種のオオタカなどが生息生育する自然環境が豊かな森でした。これらの豊かな自然が失われることを懸念した市民団体を中心に、海上の森での博覧会の開催について、計画の再検討を求める声が高まりました。このため、博覧会の開催計画をめぐって、市民との対話が始まりました。



海上の森

様々な立場の人々が参画した検討会議で議論し、住民意見の反映を経て、開催計画は大きく変更され、博覧会のメイン会場は既存の愛知青少年公園とし、海上の森は自然を活かした小規模な会場となり、それぞれ長久手会場、瀬戸会場となりました。

愛・地球博会場



愛・地球博における環境への取組

愛・地球博では、高低差のある会場地で土地の改変を最小限とするため、各バビリオン立地エリアを空中回廊(グローバルループ)で結ぶ方法が採用されるなど、会場建設の段階から環境保全に大きな配慮がなされました。また、燃料電池バスや日本初の磁気浮上式営業リニアモーターカーであるリニモなど環境負荷の少ない交通システムや、生ごみのメタン発酵から得たメタンガスを利用した燃料電池などの新エネルギーの導入、市民や企業の環境活動への自主的な参加、さらには楽しみながら環境を学ぶ機会の提供など、環境に関する様々な活動が展開されました。



燃料電池バス



リニモ

ここでの試みは、私たちの暮らしや事業活動など幅広い分野に“環境”を浸透させ、環境に対する意識を高める大きな契機となりました。また、これらの取組を単に試みに終わらせることなく、広く浸透させること、そして、次の世代に継承していくことは愛・地球博を開催したこの地域の使命、役割ではないかと思われます。愛・地球博終了後、長久手会場は“愛・地球博記念公園”として整備され、瀬戸会場を含む海上の森は万博を記念する森として保全し、愛知県館の一部があいち海上の森センターとして整備されました。愛知県では、これらの施設を拠点として、万博の理念を継承した様々な環境学習事業を展開しています。

愛知の生物多様性保全の取組

愛知の自然

愛知県は日本のほぼ中央部に位置し、5,163km²の面積に約741万人の人々が暮らしています。標高1,000mを超す山地から、東海地方に特有の植物を育む湿地、木曾川・矢作川・豊川などの河川やラムサール条約登録湿地である藤前干潟などの干潟、伊勢湾・三河湾・太平洋に面した沿岸域まで様々な自然環境と、それぞれの自然環境に応じた様々な生物により、多様な生態系を形成しています。



平野地域／市街地が広がり、樹林や緑地、農地が生物の重要な生息生育地となっています。



湿地／主に里地里山地域に分布し、第三紀層の地質上に存在する黄栄養湿地等、県の生態系を特徴付けています。



山地／二次林、水田、畑、ため池などの自然環境がモザイク状に分布しており、多様な生物が生息生育しています。



河川／河川は、それ自体が主要な生物の生息生育空間であるだけでなく、流域内で奥山、里地里山、平野、沿岸などの自然環境と連続しています。



沿岸域／水鳥をはじめとする生物の貴重な生息生育空間です。



奥山地域／人工林を中心にまとまりのある樹林地が広がっており、貴重な自然林も点在しています。

あいち自然環境保全戦略の策定

愛知県では自然環境の保全を図るとともに、人と自然が共生する社会の構築をめざすための行動計画として「あいち自然環境保全戦略—生物多様性の保全と持続可能な利用を目指して—」を2009年3月に策定しました。次の3つの大きな施策を柱に生物多様性保全のための行動計画を示しています。

- ①生物多様性の保全
 - 生態系ネットワークの形成
 - 里地・里山・里海の保全と再生
 - 野生動植物の保護と管理
- ②生物多様性の持続可能な利用
 - 地域開発と生物多様性の調和
 - 企業活動における生物多様性への配慮
 - 農林水産業の生物多様性保全機能の発揮
- ③多様な主体の協働による統合的な取組
 - 参加・協働の充実
 - 県民の意識啓発
 - 調査研究機能の整備充実



こうした取組の中でも、COP10開催年である今年、本県ならではの新たな取組として進めているのが生態系ネットワークの形成です。

生態系ネットワークの形成

生態系ネットワークの形成とは、生態系を健全に保全するため、多様な生きものの生息生育の場となる重要な地域について保全を図るとともに、そうした地域の間に、水辺や緑地等を適切に配置し、つながりを確保することです。生態系ネットワーク形成のグランドデザインとするため、県内全域を対象に、動植物の実際の生育生息情報のみならず、生息適地評価に基づいて生息生育の可能性を示した「あいちの生物多様性ポテンシャルマップ」を全国で初めて作成しました。このマップを基に、2010年から、生態系ネットワーク形成の具体的展開を図るため、県内3地域においてモデル事業を進めています。



愛知県では、生態系ネットワークの形成をはじめとする多様な取組を、「あいち自然環境保全戦略」に沿って推進し、COP10の開催地としてふさわしい地域づくりをめざします。

名古屋の環境の取組

名古屋の環境の原点—藤前干潟の保全とごみ減量—

かつて、名古屋のごみ量は一貫して右肩上がりで増え続け、1998年度には年間100万トンに迫り、焼却・処理能力は限界を迎えつつある状況にありました。藤前干潟での次期埋立処分場建設計画を進めていましたが、渡り鳥の重要な飛来地である干潟を保全するため、埋立中止を求める声が高まっていました。こうした状況の中、1999年1月、藤前干潟の埋立中止を決断しました。「快適で清潔な市民生活」と「自然環境の保全」との両立をいかにして図るべきか、悩みぬいた末の決断でした。



藤前干潟

1999年2月には「ごみ非常事態宣言」を発表し、ごみ処理の窮状を率直に伝えるとともに、市民・事業者・行政の協働によるごみ減量を訴えました。以降の徹底した分別・リサイクルの取組の結果、ごみ処理量は3割減、埋立量は6割減という成果をあげるまでにになりました。



認定証

2002年11月、藤前干潟はラムサール条約の「国際的に重要な湿地」に登録されました。現在では、ラムサール条約の目的である湿地の保全と賢明な利用のため、市民参加のもと取組が進められています。

市民とともに創る環境都市

ごみ減量の取組で発揮された市民の力。現在でも、名古屋の環境活動の中にしっかりと息づいています。

なごや東山の森づくり／なごや西の森づくり

名古屋の東部丘陵地、400haにも及ぶ「東山の森」。森づくりは、この市街地に残された都市の森を、市民共有の貴重な財産として市民・企業・行政の協働により守り育てていく活動です。西部の戸田川緑地では、市民・企業・行政のパートナーシップにより、苗木を植え、次世代に伝える豊かな森を育てていく活動が行われています。



西の森づくり



堀川調査隊

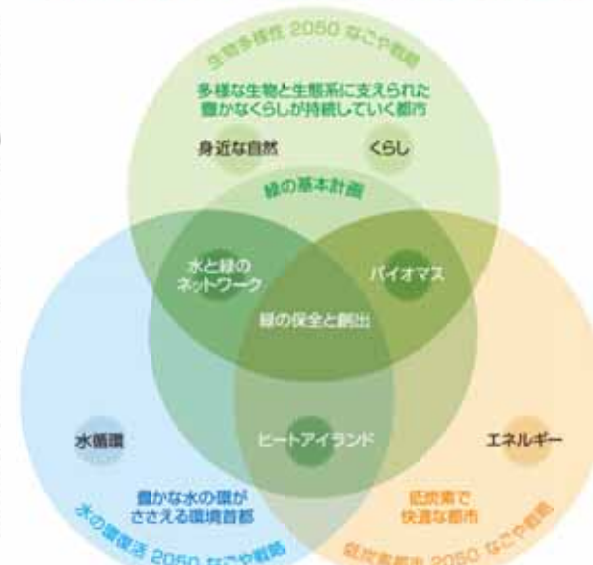
堀川1000人調査隊

名古屋のほぼ中心部を南北に貫く堀川は、1610年の名古屋城築城にあわせて開削されて以来、名古屋の人々の暮らしを支え、発展をともに歩んできた「母なる川」です。戦後の復興・発展の中で水質が悪化した堀川を浄化するため、多くの市民が、市民ならではの視点で水環境の調査を行うなど、堀川再生への取組に参加しています。

施策の総合的な推進

名古屋市では、環境施策の柱として「生物多様性2050なごや戦略」をはじめ3つの戦略を策定し、環境に関する施策を総合的に推進していくこととしています。「水の環境復活2050なごや戦略」では、都市化によって損なわれた健全な水循環を回復することで、豊かな水の環が支える名古屋の実現をめざしています。「低炭素都市2050なごや戦略」は、低炭素都市の実現に向けた2050年の将来像とそれに至る道筋や方向性についてとりまとめたものです。2020年で25%、2050年で8割という温室効果ガス削減目標も掲げています。

連携でめざす日本の風土を活かした環境都市なごや



名古屋の生物多様性保全の取組

生物多様性2050なごや戦略と市民協働による生物多様性の保全

名古屋市は、2010年3月に「生物多様性2050 なごや戦略」を策定しました。この戦略は、国家戦略に即して大都市名古屋の市民に生物多様性の意義を浸透させていくための指針であり、大都市では先進的な取組です。また、この戦略を具現化していく動きとして、生物多様性の保全に向けた市民協働の取組も生まれてきました。

生物多様性2050なごや戦略

戦略では、100年後の名古屋をイメージしながら、2050年のビジョンを示し、その達成に向けた4つの戦略を定めました。特に、名古屋のような大都市では、生物資源の持続可能な利用という課題に取り組むことが世界の生物多様性の保全に貢献することと捉え、225万市民の生活スタイルの転換を求めています。

2050年のビジョンと4つの戦略

市民の意見を踏まえた100年後の
名古屋のイメージ

市民協働による生物多様性の保全

名古屋は市域のほとんどが市街化区域であり、都市化された状況です。しかしながら、日本の大都市には珍しく111のため池とそれに隣接する緑地、いわゆる小規模な里山が残っている地域です。このため池では、地元住民、専門家、各団体、行政等多くの関係者の関わりにより、ため池の生物調査や外来種駆除などを行っています。ため池から自然を身近に感じ、市民自らが保全・再生していく機運を高めます。



池干しの様子

都市と生物多様性

COP8の翌年に採択されたクリチバ宣言では、生物多様性の保全のために都市が果たすべき役割の重要性について言及されました。都市計画などの策定や市民への普及啓発など、地域で施策を行うのは地方自治体であり、行政の様々な政策に生物多様性配慮の視点を取り入れることで、生物多様性を効果的に管理できる可能性があるからです。

また、COP9関連会議の生物多様性国際市長会議でのボン宣言に続き、COP9でも「都市及び地方自治体の参画促進」が決議されるなど、生物多様性における都市の重要性が世界的に認識されるようになりました。

名古屋市は愛知県とともに、COP10の関連会議として10月24日から26日まで「生物多様性国際自治体会議」を開催します。世界の都市や自治体による情報共有・経験交流を通して、生物多様性に関する地域レベルでの取組の拡大をめざしています。

さらに、名古屋市は、モンリオール市、クリチバ市、ボン市とともに、生物多様性の保全に関する国際ネットワークである「都市と生物多様性グローバルパートナーシップ」の運営委員でもあります。名古屋市は、運営委員都市として世界の都市に対し先導的な役割を果たすとともに、都市における生物多様性の実効的な管理に資するよう、都市の生物多様性指標(CBI)の試験的な実施などの国際的なイニシアティブに取り組んでいます。



ドイツ・ボンで開催された都市と生物多様性国際市長会議(2008年5月)



名古屋城 エリア

名古屋のシンボル名古屋城を望み、
武家文化に思いを馳せる。



名古屋駅 エリア

発展を続ける名古屋の玄関口。
路地に入れば懐かしい街並も。



凡例

COP10優待施設 ★ 優待券にて無料または割引 時間 料金 休館日 交通

01 名古屋城

COP10優待施設 ★ 別冊地図 P-2

徳川家康が築いた名古屋のシンボル。天守閣は展示室となっている。復元中の本丸御殿の工事も見学できる。 9:00～16:30(天守閣入場16:00まで) 500円 地下鉄「市役所」

02 名古屋能楽堂

別冊地図 P-2

日本建築様式の優美な外観、総木曾檜造りの舞台が見所。伝統芸能である能・狂言の上演のほか、展示室もあり。 展示室9:00～17:00 展示室 無料 地下鉄「浅間町」「市役所」

03 名古屋市市政資料館

別冊地図 P-2

1922年建造の旧名古屋控訴院など司法関連の施設を活用し、現在は建物・市政・司法をテーマにした展示室に。市の公文書館として市政資料も保存・閲覧・展示。 9:00～17:00 無料 月曜(祝日の場合は直後の平日)、第3木曜(祝日の場合は第4木曜) 地下鉄「市役所」、名鉄「東大手」

04 トヨタテクノミュージアム産業技術記念館

COP10優待施設 ★ 別冊地図 P-2

トヨタグループ発祥の地に残された工場を保存・活用した参加型博物館。産業と技術の変遷が楽しく学べる。 9:30～17:00(入館16:30まで) 500円 月曜(祝日の場合は翌日) 地下鉄「亀島」、名鉄「栄生」

05 ノリタケの森

COP10優待施設 ★ 巻末地図 P104 A-1 別冊地図 P-3

近代陶業発祥の地であるノリタケ本社敷地内にある陶磁器の複合施設。貴重なオールドノリタケが見学できる。 10:00～17:00(レストラン22:00まで) クラフトセンター 500円 月曜(祝日の場合は翌日) 地下鉄「亀島」

06 ミッドランドスクエア

COP10優待施設 ★ 巻末地図 P104 B-2 別冊地図 P-3

高さ247m、名古屋一の高さを誇る駅前のランドマーク。展望室からは名古屋の街が全方位見渡せる。 スカイプロムナード11:00～22:00(入場21:30まで)、物販店11:00～20:00、飲食店11:00～23:00(店舗により異なる) スカイプロムナード 700円 地下鉄・JR・名鉄・近鉄・あおなみ線「名古屋」



栄・伏見

エリア

活気にあふれる賑わいの街。
流行・文化を発信する名古屋都心。



07 名古屋テレビ塔

COP10優待施設 ★

巻末地図 P107 C-1

別冊地図 J-3

名古屋のシンボル、日本初の集約電波鉄塔。地上約100mの展望台からは名古屋の街を一望できる。 ⑨ 10:00～22:00(入場21:40まで) ⑩ 600円 ⑪ 地下鉄「栄」「久屋大通」、名鉄「栄町」



08 オアシス21

巻末地図 P107 C-1

別冊地図 k-3

「水の宇宙船」と名付けられたガラスの屋根が目印の立体型公園。「銀河の広場」では様々なイベントを実施。 ⑨ 水の宇宙船 10:00～21:00、店舗10:00～22:00(店舗により異なる) ⑪ 地下鉄「栄」、名鉄「栄町」直結



09 久屋大通公園

巻末地図 P107 C-1

別冊地図 J-3

栄を南北に貫く久屋大通の中央に広がる都会のオアシス。噴水時計や花時計、彫刻などがあり散策にもおすすめ。 ⑨ 地下鉄「矢場町」「栄」「久屋大通」



10 名古屋市科学館

巻末地図 P106 A-3

別冊地図 J-3

宇宙、科学技術、生命科学を楽しみながら学べる総合科学博物館。改築中のため、COP10期間中は生命館のみ開館。 ⑨ 生命館10月11日(月)～31日(日) 9:30～17:00(入館16:30まで) ⑩ 無料 ⑪ 地下鉄「伏見」



11 名古屋市美術館

COP10優待施設 ★

巻末地図 P106 A-3

別冊地図 J-3

故・黒川紀章設計のモダンな建物。国内外の現代美術、郷土美術の作品約4,300点を収蔵展示。 ⑨ 9:30～17:00(祝日を除く金曜20:00まで) ⑩ 300円 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日) ⑫ 地下鉄「伏見」



12 愛知芸術文化センター

巻末地図 P107 C-1

別冊地図 k-3

愛知県美術館、愛知県芸術劇場(大ホール他)、愛知県文化情報センター(アートライブラリー他)がある大型複合文化施設。 ⑨ あいちトリエンナーレ 2010 8月21日(土)～10月31日(日) 10:00～18:00(木～土曜20:00まで) ⑩ 1,800円 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日) ⑫ 地下鉄「栄」、名鉄「栄町」



13 ランの館

COP10優待施設 ★

巻末地図 P107 C-3

別冊地図 k-3

ランの生産日本一の愛知県。アトリウムや庭園で年間250種2万株の美しいランがゆっくりと楽しめる。 ⑨ 10:00～20:00 ⑩ 700円 ⑪ 水曜(祝日の場合は翌日) ⑫ 地下鉄「矢場町」「上前津」

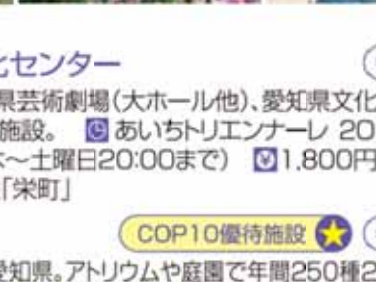


14 でんきの科学館

巻末地図 P106 A-2

別冊地図 J-3

電気やエネルギー、地球環境について楽しく学べる科学館。実験コーナーなどの体験型展示も充実。 ⑨ 9:30～17:30(入館17:00まで) ⑩ 無料 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日)、第3金曜 ⑫ 地下鉄「伏見」



15 納屋橋

巻末地図 P105 C-3

別冊地図 J-3

堀川に架かる名古屋を代表する橋。1981年の架け替えの際、高欄等の一部は1913年の架け替え当時の部材を使用。 ⑫ 地下鉄「伏見」、地下鉄・JR・名鉄・近鉄・あおなみ線「名古屋」

金山・白鳥 エリア

しろ とり

歴史・文化が薫るCOP10メイン会場。
都心と郊外を結ぶターミナルエリア。



16



17



18



19

16 熱田神宮

別冊地図 J-4

昔から「熱田さん」と親しまれてきた由緒ある神社。宝物館には国宝・重要文化財など6,000点を収蔵。⑨ 宝物館9:00~16:30(入館16:10まで) ⑩ 宝物館 300円 ⑪ 毎月最終水曜とその翌日 ⑫ 地下鉄「神宮西」、名鉄「神宮前」

17 白鳥(しろとり)庭園

COP10優待施設 ★

巻末地図 P109 B-3

別冊地図 J-4

名古屋市内随一の規模を誇る日本庭園。「御嶽山」「木曾川」「伊勢湾」など中部地方の地形をモチーフにしている。四季折々の植物が楽しめる。⑨ 9:00~16:30 ⑩ 300円 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日)、第3水曜(祝日の場合は第4水曜) ⑫ 地下鉄「神宮西」

18 名古屋ボストン美術館

COP10優待施設 ★

巻末地図 P108 A-2

別冊地図 J-3

アメリカのボストン美術館の姉妹館。同館所属のコレクションから選び抜かれた作品を展示。⑨ 平日10:00~19:00、土日祝日10:00~17:00(入館は閉館30分前まで) ⑩ 1,200円 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日) ⑫ 地下鉄JR・名鉄「金山」

19 宮の渡し公園

別冊地図 J-4

江戸時代、主要街道である東海道の宮宿と桑名宿を結んだ海路「七里の渡し」の船着場址を整備した歴史公園。⑫ 地下鉄「伝馬町」

近郊 エリア

伝統を守り、新しいものを生み出す。
自然・文化・産業、様々な魅力があふれる。



20



21



22



23

20 愛・地球博記念公園(モリコロパーク)

別冊地図 n-3

愛・地球博の長久手会場跡地をリニューアル。開催時の設備を活かした自然豊かな都市公園。⑨ 4~10月 8:00~19:00 ⑩ 一部施設有料 ⑪ 有料施設と屋内施設は月曜(祝日の場合はその翌日) ⑫ リニモ「愛・地球博記念公園」

21 海上(かいしよ)の森

別冊地図 c-2

豊かな森林、水辺などがあり、様々な野生生物が生息。森林保全・交流の拠点「あいち海上の森センター」を併設。⑨ 9:00~17:00(遊歩施設は9:30~16:30) ⑩ 一部有料 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日) ⑫ リニモ「八草」

22 トヨタ博物館

COP10優待施設 ★

別冊地図 b-2

ガソリン自動車の発達史や暮らしと自動車の関わりの変遷などを紹介する大規模な自動車博物館。⑨ 9:30~16:30(入館16:00まで) ⑩ 1,000円 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日) ⑫ リニモ「芸大通」

23 愛知県陶磁資料館

別冊地図 c-2

瀬戸、常滑など陶磁器の産地として有名な愛知。資料館や作陶体験ができる陶芸館などがある総合博物館。⑨ 9:30~17:00(入館16:30まで) ⑩ 常設展 400円 ⑪ 月曜(祝日の場合は翌日) ⑫ リニモ「陶磁資料館南」



24

自然

24 東山動植物園

CCP10 優待施設 ★ 別冊地図 I-3

520種13,000点の生物を飼育する動物園と、7,000種の植物が楽しめる植物園。国内でも有数の総合公園。

🕒 9:00～16:50(入園16:30まで) 🎫 500円、スカイタワーとの共通券640円 📅 月曜(祝日の場合は翌日)

🚗 地下鉄「東山公園」「星ヶ丘」

25 東山スカイタワー

CCP10 優待施設 ★ 別冊地図 I-3

東山動植物園に隣接する高さ134mのタワー。晴れた日には中央アルプスや御嶽山まで一望できる。

🕒 9:00～21:30(入館21:00まで) 🎫 300円

📅 月曜(祝日の場合は翌日) 🚗 地下鉄「東山公園」「星ヶ丘」

26 藤前干潟 別冊地図 I-5

庄内川、新川、日光川の河口部に広がる干潟には、シギ・チドリなど数多くの水鳥が飛来する。2002年にラムサール条約登録。

📍 稲永ビジターセンター あおなみ線「野跡」
藤前活動センター 三重交通バス「南陽町藤前」

27 徳川園

CCP10 優待施設 ★ 別冊地図 k-2

尾張徳川家の屋敷を起源とする荘厳な大名庭園。地形を活かした滝や川など日本の自然景観を象徴的に凝縮。

🕒 9:30～17:30(入園17:00まで) 🎫 300円

📅 月曜(祝日の場合は翌日) 🚗 地下鉄・JR「大曾根」



26

28 名古屋港水族館 別冊地図 I-5

シャチやベルーガなど、世界中の海の生物を飼育展示。世界的にも有名なウミガメの研究施設を併設。

🕒 9月1日～11月30日 9:30～17:30(入館16:30まで)

🎫 2,000円 📅 月曜(祝日の場合は翌日)

🚗 地下鉄「名古屋港」

29 鶴舞(つるま)公園 別冊地図 k-3

1909年開園の名古屋市で最も古い公園。西側は整形の洋風公園、東側は日本庭園という和洋折衷の造り。

🚗 地下鉄・JR「鶴舞」

30 東谷山(とうごくさん)フルーツパーク

CCP10 優待施設 ★ 別冊地図 n-1

名古屋市最高峰の東谷山(198m)の自然環境を活かした農業公園。世界中のフルーツが楽しめる。

🕒 9:30～16:30 🎫 一部施設有料 📅 月曜(祝日の場合は翌日)

🚗 ゆとりーとライン「東谷橋」、JR「高蔵寺」、市バス「東谷山フルーツパーク」

31 名古屋市農業文化園

CCP10 優待施設 ★ 別冊地図 h-4

日本の農業史から現代のバイオテクノロジー農法までを紹介。農業の必要性和花を愛する心を育む憩いの施設。

🕒 9:00～16:30 🎫 一部施設有料 📅 月曜(祝日の場合は翌日)

🚗 地下鉄「東海通」「高畑」下車乗換、市バス河合小橋行き「南陽支所」

32 鳳来寺山 別冊地図 e-3

火山活動によって生まれた岩肌が美しい山で、コノハズクの棲息地としても有名。国指定名勝天然記念物。

🕒 山頂までの所要時間約100分 🚗 JR「本長篠」下車乗換、豊鉄バス「鳳来寺」(石段登り口から約1,400段)



27



28



29



30



31



32

教育・芸術

33 徳川美術館

COP10優待施設 ★ 別冊地図 k-2

尾張徳川家の1万数千点にも及ぶ大名道具を収蔵。国宝の源氏物語絵巻など貴重な文化財も多数。

🕒 10:00～17:00(入館16:30まで)
 🎫 1,200円 📅 月曜(祝日の場合は翌日)
 🚶 地下鉄・JR「大曽根」

34 名古屋市博物館

COP10優待施設 ★ 別冊地図 k-4

旧石器時代から現代に至る尾張地方の歴史を紹介した常設展など、国内外の文化財を紹介する歴史博物館。

🕒 9:30～17:00(入館16:30まで)
 🎫 常設展 300円
 📅 月曜(祝日の場合は翌日)、第4火曜(祝日を除く)
 🚶 地下鉄「桜山」

35 ヤマザキマザック美術館

COP10優待施設 ★

巻末地図 P107 D-1 別冊地図 k-3

絵画作品を始め、ガラス工芸品や家具作品など18世紀から20世紀のフランス美術品を数多く展示。

🕒 10:00～17:00 🎫 1,000円 📅 月曜(祝日の場合は翌日) 🚶 地下鉄「新栄町」直結

36 名古屋海洋博物館・展望台・南極観測船「ふじ」

別冊地図 t-5

港・船・貨物など、海に関する博物館のほか、18年間活躍した日本の南極観測船内で航海や南極観測を再現。

🕒 9:30～17:00 🎫 1施設につき300円
 📅 月曜(祝日の場合は翌日) 🚶 地下鉄「名古屋港」

37 ラムサール条約湿地藤前干潟 稲永ビジターセンター

別冊地図 t-5

渡り鳥の生態に関する展示など、藤前干潟の環境保全や適正な利用のための情報を発信する環境学習施設。

🕒 9:00～16:30 🎫 無料 📅 月曜(祝日の場合は翌日)、第3水曜(祝日の場合は第4水曜)
 🚶 あおなみ線「野跡」

38 名古屋市野鳥観察館

別冊地図 t-5

庄内川、新川の河口の干潟に飛来するサギの仲間やカワウ、季節の渡り鳥などが観察できる。

🕒 9:00～16:30 🎫 無料 📅 月曜(祝日の場合は翌日)、第3水曜(祝日の場合は第4水曜)
 🚶 あおなみ線「野跡」



歴史・文化

39 国宝犬山城 (別冊地図 b-1)

尾張徳川家の家老、成瀬家の居城であり、別名「白帝城」といわれる。現存する天守閣としては日本最古。

🕒 9:00～17:00(入場16:30まで)

🎫 500円 🚗 名鉄「犬山遊園」「犬山」

40 国宝茶室「如庵」 (別冊地図 b-1)

日本に3ヶ所残る国宝茶室のひとつ。織田信長の弟、有楽斎が京都に築いたものを移築。意匠を凝らした独創的な建物。

🕒 9:00～17:00 🎫 1,000円

🚗 名鉄「犬山遊園」

41 大須観音(真福宝生院) (別冊地図 I-3)

1612年、名古屋開府にあたり徳川家康が美濃(岐阜県)から移築。毎月18日・28日には骨董市が開かれる。

🎫 無料 🚗 地下鉄「大須観音」

42 荒子観音(浄海山円龍院観音寺)

(別冊地図 I-3)

729年創建の天台宗の寺。円空上人作のナタ彫り仏像約1,220体を収蔵。多宝塔は国重要文化財に指定されている。

🕒 7:00～17:00 円空仏の公開は毎月第2土曜日 🎫 円空仏拝観 500円

🚗 地下鉄「高畑」、あおなみ線「荒子」

43 八事山興正寺 (別冊地図 I-3)

江戸時代の1688年創建。境内の五重塔は愛知県で唯一の木造塔で、国の重要文化財に指定されている。

🕒 7:00～18:00 🎫 無料 🚗 地下鉄「八事」



産業

44 三菱東京UFJ銀行貨幣資料館

(別冊地図 k-3)

日本と世界各国の珍しい貨幣約1万点のほか、「東海道五十三次」に代表される歌川広重の浮世絵を展示。

🕒 9:00～16:00(入館は15:30まで)

🎫 無料 🗓 月曜、祝日

🚗 名古屋駅、栄より基幹バス「赤塚白壁」

45 INAXライブミュージアム

(別冊地図 a-3)

12世紀から続く常滑焼の地元。製品の美しさや歴史、文化を伝える。体験教室も充実。

🕒 10:00～18:00(入場17:30まで)

🎫 600円

🚗 名鉄「常滑」下車乗換、知多バス知多半田行「INAXライブミュージアム前」

46 博物館「酢の里」(要予約)

(別冊地図 b-3)

伝統産業である酢づくりの道具・工程・蔵で働く人々の生活を展示した日本で唯一の酢の博物館。

🕒 受付 9:00～16:00(12:00～13:00は休憩、土日祝15:30まで) 🎫 無料(要予約)

🗓 毎月第3日曜 🚗 JR「半田」、名鉄「知多半田」

47 國盛酒の文化館(要予約)

(別冊地図 b-3)

約200年にわたり使用された日本酒の酒蔵を利用した博物館。愛知の地酒の試飲コーナーもある。

🕒 10:00～16:00(12:00～13:00は休憩)

🎫 無料(要予約) 🗓 毎月第3木曜(祝日の場合は翌日) 🚗 JR「半田」

 味


味噌煮込みうどん

赤味噌ベースの濃厚な汁とコシの強い太麺が特徴。なごやめしの代表格。



きしめん

薄く平らな麺が特徴。あっさり味のツユと滑らかなのどごしがきしめんの醍醐味。



ひつまぶし

細かく刻んだ鰯の蒲焼を、薬味をのせたり、お湯をかけたり、変化をつけて食べる。



手羽先

パリパリとした食感でスパイシー。ビールのおつまみに最適な名古屋名物。



みそかつ

トンカツに赤味噌ベースの甘辛いタレをかけて食べるのが名古屋流。



あんかけスバ

中華料理の餡に似た、ピリ辛ソースを極太の Pasta にかけた名物料理。



天むす

小ぶりのえびの天ぷらを使った一口サイズの海苔巻きおむすび。



小倉トースト

バタートーストに小倉あんをのせる。和と洋が絶妙にマッチした一品。



名古屋コーチン

赤みを帯びた香り高く、歯ごたえある肉質が特徴。鳥すき、塩焼きなど食べ方も多彩。

 土産


ういろう

米粉に砂糖を加えた蒸し菓子。モチモチとした独特の食感の伝統の一品。



えびせんべい

獲れたてのえびを加工。潮の香りと海の恵みが詰まった愛知の名物。



有松・鳴海絞り

400年の伝統をもつ木綿地を使った絞り染。70～80種類の絞り手法がある。



瀬戸物

愛知は全国的に有名な陶磁器の産地。地域により様々な陶磁器が生産されている。



七宝焼

銀や銅の上にガラス釉を焼きつけた色鮮やかな工芸品。つぼや小物などがある。



西尾抹茶

豊かな土地柄が育てた逸品。深い緑、上品な香り、穏やかな旨味とコクが特徴。



守口漬

長さ1.5～2mもある愛知県特産の守口大根を酒粕で漬けた甘い味の漬物。



鬼まんじゅう

角切りのサツマイモと米粉でつくる蒸し菓子。自然な甘さともっちりした食感が魅力。



ちくわ

江戸時代後期から受け継がれる伝統の味。海の恵みを活かした自然の味わい。

生物多様性交流フェア

2010年、生物多様性のために世界が集う。

COP10会場(名古屋国際会議場)に隣接する白鳥地区を舞台に開催する、生物多様性をテーマとした国際的な発表・交流展示会です。国内外の政府や自治体、国際機関、NGO/NPO、学術、企業など200を超える出展者が、生物多様性に関するプロジェクトやコンセプト、課題やアイデアを持ち寄り、情報発信します。会場で様々な取組の成果や課題に触れることで、将来にわたって行動や活動を継続していくための大きなヒントやきっかけを得ることができます。さらには、この地域、そして世界の生物多様性の保全に向けた大きな力へとつながっていきます。

【開催期間】 10月11日(月)～29日(金)

【開催時間】 平日 9:30～18:30(最終日は15:00まで)
土・日 10:00～16:00

【会場】 白鳥地区(白鳥公園/熱田神宮公園/名古屋学院大学体育館)

【URL】 <http://cop10.jp/fair/>



展示・発表、交流、そして未来へ。

ブース展示やステージイベント、フォーラムなどを通じ、生物多様性について知り、学び、未来へとつながる行動を喚起していきます。



1 エキスポゾーン(ブース出展)

締約国政府や国際機関、国際的なNGOを中心にCOP10会議参加者への情報発信を意識した専門性の高いブースが集まります。生物多様性の国際的なトレンドに触れられる貴重な機会となります。



2 フェスティバルゾーン (ブース出展・ステージイベント・特設ブース)

地方自治体や国内NGO/NPOを中心に、生物多様性に関するプロジェクトやコンセプト、課題やアイデアを展示・紹介します。ステージや特設ブースでの発表やプログラムとあわせて、興味をもって、楽しく生物多様性について知り・学ぶことができます。



3 フォーラムゾーン(フォーラム)

生物多様性に関する取組やその成果、課題を発表し、参加者とともに解決策や推進方法について議論する場です。



COP9展示会(2008年ドイツ)



地球いきものEXPO in モリコロパーク

2005年に環境をテーマに開催された愛・地球博(日本国際博覧会)の会場跡地である愛・地球博記念公園で、自然豊かな環境の中、楽しみながら生物多様性を体感いただけます。

【開催日】 10月9日(土)～29日(金) 10:00～16:00 ※主なプログラムは土日のみ開催

【URL】 <http://www.cop10.jp/expo/>

主なプログラム

ステージプログラム(土日のみ)

コンサート、トークショー、地元NGOによるプレゼンテーションなど楽しみながら生物多様性について知ることができるプログラムを実施します。



ブース展示(土日のみ)

NGO、企業、行政機関など様々な団体が生物多様性をテーマとしたブースを出展します。

ナチュラスロン2010 - The Course of the World

COP9の際にボンで開催された環境問題を啓発するためのスポーツイベント「ナチュラスロン 2008 - The Course of the World」(主催:ドイツ連邦政府自然保護局)を継承し、COP10でも開催します。自然に恵まれた公園内に特設した10kmのコースを市民とともに走ってみませんか。

【日 時】 10月16日(土) 11:00スタート

【定 員】 2,010名

【備 考】 植樹イベント(P81)なども開催されます。



愛・地球博記念公園(モリコロパーク) 別冊地図 n-3



A 地球市民交流センター

・絵画・写真コンテスト作品展示等
・地球のいのち・交流ステーション(P80)
・NGOによる参加型体験プログラム

B フレンドシップ広場

・モンゴリ森守プロジェクト(P81)

C 大芝生広場

・ステージプログラム
・ブース展示

D もりのゾーン

・里山体感プログラム

E 公園内周遊コース

・ナチュラスロン

F もりの学舎

(P81)





COP10情報発信ステーション in オアシス21

名古屋の中心部に位置する栄・オアシス21では、COP10と生物多様性の情報を集約し発信する「COP10情報発信ステーション」を開設します。

「ステーション」では、行政機関、NGO/NPO、企業などの生物多様性・COP10に関連するイベントや各団体の取組をリーフレットや映像で紹介し、「ステージ」は、トークショーやライブ演奏を通じて、楽しみながら生物多様性を体感できる場です。「展示エリア」では、COP10支援実行委員会が実施した事業の成果発表や生物多様性をテーマとしたポスターの展示、週交代りで展開する生物多様性に関する体験型テーマ展示を行います。

多様なプログラムを通して、地球環境に目を向け、「生物多様性」について考え行動するきっかけをつくります。



巻末地図 P107 C-1

別冊地図 k-3

【開催期間】10月9日(土)～29日(金)

【会場】オアシス21(銀河の広場)

【開催時間】10:00～(終了時刻は日によって異なります)

生物多様性国際自治体会議

～鍵を握る自治体の取組



都市と生物多様性国際市長会議(2008年5月、ドイツ・ボン)

生物多様性の保全を達成するためには、国レベルの取組だけでなく、実際に地域で施策・事業を行う自治体の役割が重要です。また、私たちの生活は世界の生物多様性やその恩恵の上に成り立っており、その保全は地球規模で取り組むべき課題で、世界中の自治体が連携し協力していくことが不可欠です。COP10の開催地である愛知県と名古屋市は、都市や自治体が果たすべき役割の重要性を確認し、地域行動につなげることを目的に、「生物多様性国際自治体会議」を開催します。会議では、世界の自治体間の情報交換と経験交流を進め、自治体の取組を世界に向けて発信していきます。

【開催期間】10月24日(日)～26日(火) 【会場】名古屋東急ホテル

【主催】COP10支援実行委員会、愛知県、名古屋市

【共催】生物多様性条約事務局、イクレイ・持続可能性を目指す自治体協議会

※参加登録は終了しています。

生物多様性ー里山知事サミット

里山・里海の利用・保全と地域活性化

COP10サイドイベントにおける里山関係会議のひとつとして、愛知県・石川県・静岡県・滋賀県・兵庫県の知事などが集まり、「里山里海の利用・保全と地域活性化」をテーマにその取組を国内外に広く発信し、ポストCOP10に向けて、世界各地における主体的かつ継続的な取組の重要性を訴えます。

【開催日】10月19日(火) 15:00～18:00 【場所】ミッドランドホール(ミッドランドスクエア5F)

【主催】地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、国際連合大学(UNU)、環境省

COP10ビジネスウィーク

名古屋商工会議所、社団法人中部経済連合会、経団連自然保護協議会、IUCN日本プロジェクトオフィス等は、COP10開催期間中の10月25日(月)～30日(土)を「COP10ビジネスウィーク」と銘打ち、各主体が経済人を対象としたイベントを開催します。

「ビジネスと生態系に関する国際対話会合

ビジネスの主張の条約交渉団へのインプット、ビジネスの成功事例の発信、生物多様性を主流化するための方策検討を目的とした国際対話会合です。

【日 時】10月26日(火)9:00～18:00

【場 所】サイドイベント会場130(名古屋国際会議場1号館3F)

【主 催】経団連自然保護協議会、持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD)、国際自然保護連合(IUCN)



COP9サイドイベントの様子

企業経営層と各国閣僚級との懇談会&レセプション

ビジネスの主張の条約交渉団へのインプットとともに、生物多様性政策に関するビジネスの役割についての意見交換を目的に開催します。

【日 時】10月28日(木)18:40～22:30

【場 所】交流センター会議ホール(ポートメッセなごや)

【主 催】経団連自然保護協議会、生物多様性条約事務局、地球環境ファシリティ(GEF)、COP10支援実行委員会

「メッセナゴヤ2010



メッセナゴヤは、2005年に開催された「愛・地球博」の理念を継承する事業として2006年にスタートしました。業種や業態の枠を超え、各出展者のもちよる製品や技術、サービスを名古屋から国内外に広く情報発信し、販路拡大や人脈形成を図る「国際総合展示会」であり、活発なビジネス交流を展開していただく「異業種交流の祭典」です。第5回目を迎える今回は、COP10連携事業として、前年比約1.0倍の出展440社超・1,000小間超の規模で開催します。

【日 時】10月27日(水)～30日(土)10:00～17:00

【場 所】ポートメッセなごや 【テーマ】環境・エネルギー

【主 催】メッセナゴヤ実行委員会(愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所)

「生物多様性フォーラム

このフォーラムでは、中部経済界が生物多様性への理念に賛同し、今後、中部の豊かな自然と高度な技術の共存をめざしていく姿を広く国内外へ発信する「生物多様性宣言」の発表をはじめ、企業の生物多様性への取組に関する「事例発表」、さらに「特別講演」「パネルディスカッション」を実施します。また、フォーラム会場に隣接したエリアでは、中部の企業20社とIUCN(国際自然保護連合)親善大使であるフォークシンガー・絵本作家のイルカさんが生物多様性への取組を「ポスターセッション」にて掲示します。フォーラム会場への入場は事前予約された方が対象となりますが、ポスターセッション会場は自由にご覧いただけます。多数のご来場をお待ちしています。

【日 時】10月25日(月)10:00～17:00

(フォーラム 10:00～16:30、ポスターセッション 9:00～17:00)

【場 所】タワーズボールルーム(名古屋マリオットアソシアホテル 16F)

【主 催】社団法人中部経済連合会



子どもCOP10あいち・なごや 国際子ども環境会議

日本各地や海外から参加する子どもたちが「生物多様性の保全」という地球規模の課題について考え、その成果を未来に向けて発信することを目的に開催する会議です。この会議は、2005年に開催された愛・地球博の理念を継承し、翌年の2006年から名古屋市で毎年開催されている「なごや子ども環境会議」の流れを受けたもので、今回は国内外の子ども約600名が参加します。10月24日には子どもたちが意見交換を行い、その成果を提言として取りまとめ発信します。また、この会議の成果は、COP10に向け発表されることが予定されています。

【主 催】 子どもCOP10あいち・なごや実行委員会、国連環境計画(UNEP)
【共 催】 COP10支援実行委員会



生物多様性国際ユース会議 in 愛知2010

この会議は、2009年8月に名古屋市内で行われた「生物多様性アジアユース会議」の流れを受け、世界の青年の交流と生物多様性に関する意識の向上などをめざし、2010年8月21日から27日にかけて、日本を含む世界中から66ヶ国の青年100名が愛知県に集まり開催されました。会議では、地球規模での生物多様性の損失を止めるために青年として何ができるかなどについて議論し、その成果を声明や行動計画などとして取りまとめました。この成果は8月27日のフォーラムで発表され、さらにCOP10に向け発信されることが予定されています。

【主 催】 環境省
【共 催】 外務省、愛知県



COP10 社会と学術の対話フォーラム 「生物多様性を主流に」



このフォーラムは、COP10の1か月前の時期を狙い、COP10のホスト国民として知っておくべき論点を総ざらいする場として、9月4日(土)、5日(日)に名古屋大学で実施しました。生物多様性の問題は、学術分野であっても知見が十分に統合されているわけではありません。フォーラムでは、人と自然の付き合い方について、市民目線(社会)と専門家目線(学術)をつなぐユニークな試みが行われました。議論や来場者との質疑応答に多くの時間が割かれ、フォーラムの最後には、COP10を21世紀にふさわしい暮らしやビジネス、地域づくりをすすめるための契機とする決意表明がされました。当日の様子等をまとめたパンフレットは、インフォメーションセンター(名古屋国際会議場中庭)で入手可能です。

【主 催】 COP10支援実行委員会、名古屋大学
【共 催】 愛知学長懇話会、中部ESD拠点、中日新聞社



エクスカーション

10月23日(土)、24日(日)を中心に、COP10支援実行委員会、中部圏の各県、国の機関により「愛知・名古屋そして中部圏の優れた自然、歴史・伝統、文化、産業技術などを体験・体感」することができるエクスカーションを開催します。すべてのエクスカーションには英語による通訳がつきます。

◆エクスカーションの詳細について

エクスカーションの内容はこのハンドブックに掲載されていますが、行程の詳細などはインフォメーションカウンターのエクスカーションデスク(名古屋国際会議場1F騎馬像前)にお尋ねください。

◆エクスカーションの参加登録

エクスカーションの参加登録は、インフォメーションカウンターのエクスカーションデスクで受付けます。参加者定員に限りがありますので、参加登録は基本的に先着順です。また、WEBによる事前予約をされた方も再度参加確認の登録が必要ですので、インフォメーションカウンターのエクスカーションデスクにお越しください。参加登録をされた方には、コース名と集合場所を記載したエクスカーション参加チケットをお渡ししますので、チケットを持参のうえ集合場所へお越しください。

- 出発・到着場所は、原則として地下鉄西高蔵駅2番出口付近となります。
- 出発 / 集合時間に変更する場合があります。必ずチケットで確認してください。
- コースによっては森の中などを歩くことがありますので、動きやすい靴や服装でご参加ください。



コース一覧

10月16日(土)・17日(日)

- 越中富山の悠久の歴史・文化を辿る
～世界遺産合掌集落、国宝瑞龍寺を訪ねる～(P61)

10月23日(土)

- ラムサール条約登録湿地藤前干潟と名古屋港水族館(P47)
- 里山海上の森と愛知・名古屋の産業(P48)
- 木曾川の渓谷美と国宝犬山城(P50)
- 焼き物と醸造の知多半島めぐり(P51)
- 黒壁集落と海を渡る蝶に出会う佐久島(P52)
- 白鳥庭園とナゴヤ堀川歴史観光クルーズ(P56)
- 生きものと共生する農業と伝統芸能(P57)
- 動植物の宝庫、自然豊かな鈴鹿山脈・御在所岳(P68)

10月24日(日)

- 愛知・名古屋のものづくりと伝統文化(P46)
- 東山の森と現代アートの祭典「あいちトリエンナーレ2010」(P49)
- 三谷祭り岡崎(P53)
- 矢作川流域の里地里山と矢並湿地の生物多様性(P54)
- 河口都市名古屋が示す生物多様性の保全問題400年(P55)
- 持続可能な森林経営からみる段戸国有林の生物多様性保全(P58)

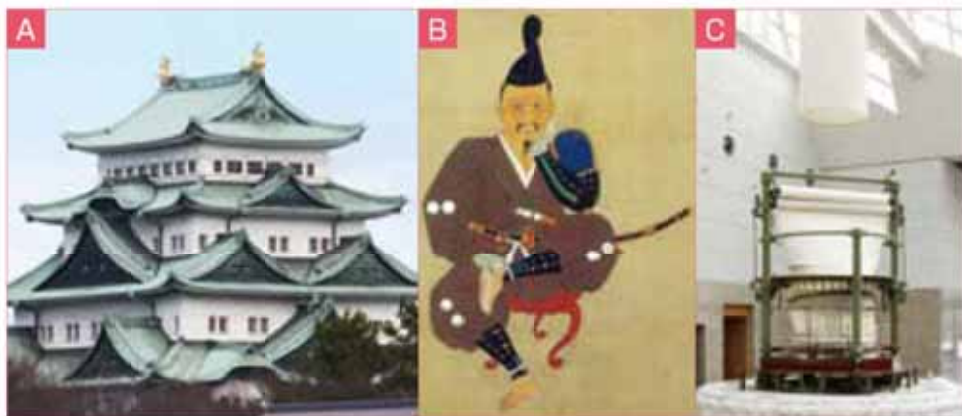
10月23日(土)・24日(日)

- 自然と共生2000年の伊勢神宮と伊勢志摩のエコツアー(P59)
- トキを育む生物多様性と歴史文化が息づく島 さど(P60)
- 城下町金沢と能登半島の里山里海(P62)
- ラムサール条約湿地三方五湖と恐竜博物館(P63)
- 富士山5合目とハケ岳ー環境・歴史・文化を学ぶ(P64)
- 霧ヶ峰高原と国宝松本城(P65)
- 世界遺産 白川郷と『岐阜の宝もの』五色ヶ原の森(P66)
- ふじのくに静岡(P67)
- 琵琶湖畔の水と人との関わりを訪ねてー農家民泊と水郷巡り(P69)

エクスカーション 1 愛知・名古屋のものづくりと伝統文化

1610年の名古屋城築城から始まった名古屋の歴史を感じられる施設を訪問します。

【出発日時】10月24日(日) 9:30出発
 【帰着日時】10月24日(日) 19:00帰着予定
 【主催者】COP10支援実行委員会 【定員】40名
 【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



- | | |
|-------------------------------|--|
| A 名古屋城 | 江戸幕府を開いた徳川家康により1610年に建設された名古屋のシンボルです。 |
| B 徳川美術館 | 徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家の初代義直(家康の九男)以下代々の遺愛品、いわゆる「大名道具」1万数千件を収める美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財58件など、当館ならではの種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。 |
| C トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館 | 自動織機の工場を産業遺産として保存しながら、近代日本の発展を支えた主幹産業のひとつである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷を通して、日本の産業技術史について系統的に紹介する博物館です。愛知・名古屋のものづくりを支える近代産業史を、実際に稼働する機械や製造の実演を見ながら学ぶことができます。 |

エクスカーション 2 ラムサール条約登録湿地藤前干潟と名古屋港水族館

重要な渡り鳥の飛来地であり、国際的に重要な湿地として2002年にラムサール条約に登録された藤前干潟と、海生生物の研究を行っている名古屋港水族館を訪問します。

【出発日時】10月23日(土) 9:00出発
 【帰着日時】10月23日(土) 16:00ごろ名古屋港水族館で解散
 【主催者】COP10支援実行委員会 【協力】中部地方環境事務所 【定員】40名
 【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



- | | |
|------------------|---|
| A 藤前干潟 | 伊勢湾最奥部に位置し、潮が最も引いた時には238haという広大な干潟が現れます。当初は名古屋市のごみ処分場として埋立てる計画がありましたが、自然環境の保全上重要であることから、この計画は取りやめとなりました。その後、国際的に重要な湿地として2002年にラムサール条約に登録されました。 |
| B 名古屋港水族館 | 「35億年はるかなる旅～ふたたび海へもどった動物たち～」をテーマにした北館と、「南極への旅」をテーマにした南館の2つの施設から成る世界最大級の水族館です。メインプールでの迫力満点のイルカパフォーマンスや黒潮大水槽、ペンギン水槽など、海の生きものの生態が楽しみながら学べる施設となっています。 |

3 エクスカーション かいしょ 里山海上の森と愛知・名古屋の産業

2005年に開催された愛・地球博のメイン会場となる予定だった海上の森と、愛知・名古屋の産業である自動車と陶磁器の博物館を訪問します。

【出発日時】10月23日(土) 9:30出発
 【帰着日時】10月23日(土) 19:00帰着予定
 【主催者】COP10支援実行委員会 【定員】40名
 【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



- A 海上の森 (かいしょのもり)** 里山とは、長い歴史の中で農林業などにより適度に人の手が入ること、特有の自然環境が形成されてきた地域で、様々な野生生物が生息・生育しています。また、2005年に開催された愛・地球博のメイン会場となる予定でしたが、計画が変更され保全されました。
- B 愛知県陶磁資料館** 愛知県は陶磁産業が盛んな地域であり、世界に誇りうる陶磁文化の殿堂をめざして建てられました。歴史的・美術的・産業的に貴重な陶磁作品の展示や、様々な陶磁文化の普及事業を行っています。
- C トヨタ博物館** 愛知県は世界でも最も自動車産業が盛んな地域です。ここではガソリン自動車が誕生した19世紀末から20世紀の自動車の歴史について、実用車を中心に約120台の車両により体系的に展示しています。

4 エクスカーション 東山の森と現代アートの祭典 “あいちトリエンナーレ2010”

名古屋の東部丘陵地に広がる都市内に残された大きな森である東山の森と、最先端の現代アートの祭典「あいちトリエンナーレ2010」を訪問します。

【出発日時】10月24日(日) 8:30出発
 【帰着日時】10月24日(日) 15:00ごろ愛知県美術館で自由解散
 【主催者】COP10支援実行委員会 【定員】40名
 【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



- A 東山の森・東山動植物園** 東山の森は、名古屋市東部丘陵地域に広がる都市内に残された森です。市民に親しまれている東山動植物園があります。東山スカイタワーからは、東山の森全体と市街地の対比を眺めることができます。また、東山の森では、雑木林や湿地の保全、水田や畑の手入れなど、里山の再生が市民協働により進められています。
- B あいちトリエンナーレ2010** 2010年を第1回とする国際芸術祭です。今回は「都市の祝祭 Arts and Cities」をテーマに、現代美術の国際展や舞台芸術公演によって最先端の現代アートを紹介し、世界の第一線で活躍する130組以上のアーティストたちの、愛知・名古屋でしか見ることのできない作品の数々を楽しむことができます。

エクス
カーション

5

木曽川の渓谷美と国宝犬山城

愛知県北部の木曽川などの優れた自然と犬山城をはじめとした歴史的な施設をもつ町、犬山を訪問します。

【出発日時】10月23日(土) 8:30出発

【帰着日時】10月23日(土) 17:30帰着予定

【主催者】COP10支援実行委員会 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



A 木曽川下り

飛騨木曽川国定公園に指定されている木曽川の渓谷美を船から見学します。様々な形の岩を眺めながら壮快に下ります。木曽川は愛知・名古屋の水道水の水源となっている清流です。

B 犬山城

日本の最古の現存天守閣をもつ城で、国宝に指定されています。築城当時の木材が多く残されているため、歩くとミシミシと鳴る音や床の隙間など、五感で犬山城を楽しめます。天気が良ければ、天守閣からは美しい木曽川の眺めや名古屋駅のビル群などの景色をご覧いただけます。

C 秋の犬山 お城まつり

愛知県の有形民俗文化財に指定されている3層の車山が13台くり出し、笛、太鼓にあわせてからくり人形が踊ります。

エクス
カーション

6

焼き物と醸造の知多半島めぐり

知多半島は名古屋から南に突き出した半島で、常滑焼などの窯業や酒、酢などの醸造業が盛んなところです。

【出発日時】10月23日(土) 8:00出発

【帰着日時】10月23日(土) 20:00帰着予定

【主催者】COP10支援実行委員会 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



A 博物館「酢の里」

半田運河に面した黒壁の街並みが印象的な建物です。江戸時代からの酢づくりに使われた様々な道具を展示し、酢づくりや樽づくりの様子、倉の職人制度や人々の生活を知ることができます。酢づくりで最も重要な工程である「酢酸発酵」を見学できます。

B 酒の文化館

「日本酒」の知識と理解を深めるとともに、省力化、機械化が進められる酒づくりで使われなくなった道具、伝統的な先人たちの技などの貴重な文化遺産の伝承を目的に開設されました。建物は、約200年にわたって実際に酒づくりが行われた酒蔵をそのまま活かしたものです。

C INAX ライブミュージアム

焼き物の町・常滑にある博物館です。「窯のある広場・資料館」「世界のタイル博物館」「土・どろんこ館」等から成り、土から焼き物製品まで、その歴史や文化、美しさや楽しさを体感・体験できます。焼き物に使う土を使った「光るどろんこ団子」づくりを体験できます。

エクス
カーション

7

黒壁集落と海を渡る蝶に出会う佐久島

佐久島は穏やかな三河湾に浮かぶ人口300人の半農半漁の小さな離島です。魅力的な町並みや自然を活かしたアートプロジェクトがスローライフ指向の観光客の人気を集めています。

【出発日時】10月23日(土) 9:00出発

【帰着日時】10月23日(土) 18:30帰着予定

【主催者】COP10支援実行委員会 【協力】一色町 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



A 黒壁集落

佐久島の西地区では、黒壁集落が独特の景観をつくっています。迷路のように入り組んだ路地歩きを楽しみ、築100年の古民家をアーティストが作品化した「大葉邸」の室内見学では、日本の伝統的な建築や島民の昔の生活様式を知ることができます。

B アサギマダラ

遠くは台湾から日本へ飛来する「渡りをする蝶」です。佐久島から南大東島(直線距離1,125km)への渡りも確認されています。10月は佐久島で最も多くのアサギマダラを観察することができます。

C 佐久島太鼓

島の祭りで必ず演奏される佐久島太鼓は、素朴で力強いリズムが魅力です。島民の指導で、太鼓の体験や、昔から島で作られてきたそら豆の餡を入れたお菓子「かしや餅」づくりも行います。

D スナメリウォッチング

佐久島周辺を船でクルーズします。運が良ければ小型のイルカのスナメリが見えるかも!

エクス
カーション

8

三谷祭りと岡崎

愛知県東部の海に面した町蒲郡と、大豆のみから作られる味噌を代表する調味料の産地岡崎を訪問します。

【出発日時】10月24日(日) 8:45出発

【帰着日時】10月24日(日) 18:00帰着予定

【主催者】COP10支援実行委員会 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



A 三谷祭り

元禄時代から続いているこの祭りは、裸になった氏子たちが豪華絢爛な山車を引き回し、八剣神社と若宮神社の間を練り歩きます。祭りのクライマックスでは、「海中渡御(かいちゅうとぎよ)」と呼ばれる4台の山車が、氏子に引かれながら300mに渡って海を進む、迫力ある光景を見ることができます。

B 岡崎八丁味噌蔵

岡崎は江戸幕府を開いた徳川家康のふるさととして知られる古くからの町ですが、大豆から作られる八丁味噌の産地としても有名です。黒壁の味噌蔵が並ぶ八丁蔵通りの歴史的な町並みや、蔵の中では石が積まれた大きな味噌樽が並ぶ独特の光景を見ることができます。

9 エクスカーション 矢作川流域の里地里山と矢並湿地の生物多様性

愛知県の中央部を流れる矢作川は、流域に住む人々の水道水の水源にもなっている清流です。この矢作川流域の河畔林や里山、この地方特有の植物が生育する湿地を訪ねます。

【出発日時】10月24日(日) 8:45出発

【帰着日時】10月24日(日) 18:00帰着予定

【主催者】COP10支援実行委員会 【協力】CBD市民ネット 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



A 豊田市
自然観察の森

豊田市は自動車産業で有名な工業都市ですが、一方で豊かな自然も残された町です。豊田市自然観察の森(市営)は都市近郊の里山環境です。「サシバのすめる森づくり」をテーマに里山保全活動を行うとともに市民への自然学習施設として機能しています。

B 矢並湿地

貧栄養の湧水による湿地です。シラタマホシクサやミカワシオガマなど、「東海丘陵要素植物」と呼ばれるこの地方に特異で貴重な植物が自生しています。豊田市と矢並湿地保存会、豊田市自然愛護協会などの市民団体が草刈りなどの保全活動を行っています。盗掘防止のため普段は立ち入り禁止ですが、秋に一般公開をしています。

10 エクスカーション 河口都市名古屋が示す生物多様性の保全問題400年

名古屋は、生物多様性と人との関係の変化が分かりやすく、日本の沿岸開発や都市づくりの代表例です。名古屋国際会議場の南部はかつて海でした。名古屋の街は近世以降埋立が進み、現在のような陸地になりましたが、その過程で失われ変化した人の営みや残された干潟や森などを巡ります。

【出発日時】10月24日(日) 10:00出発

【帰着日時】10月24日(日) 18:00帰着予定

【主催者】COP10支援実行委員会 【協力】CBD市民ネット 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



A 下之一色町

1937年に名古屋市に編入された漁村です。庄内川と新川の2つの河川に挟まれ、かつては豊かな河口域での漁業によって栄えた町です。その後、水質の悪化や沿岸の埋立などにより漁業が衰退しましたが、現在でも魚市場など漁村としての面影が残る町です。

B 宮の渡し跡

江戸(現在の東京)から京都までを結んだ東海道のうち、唯一海路だったのが宮(現在の名古屋市熱田区)と桑名を結ぶ宮の渡しです。交通の要所であり尾張藩の海の玄関口として、また熱田神宮の門前町として栄えました。魚市場や貯木場の名残を船の上からご案内します。

C 熱田神宮

年間650万人に近い参拝の人々で賑わう愛知県を代表する神社です。約19万m²の敷地に、樹齢1000年を超える楠をはじめとした多くの木々が茂り、名古屋を代表する森でもあります。

エクス
カーション

11

白鳥庭園とナゴヤ堀川 歴史観光クルーズ

COP10会場に隣接する日本庭園の白鳥庭園を散策した後、400年前に名古屋城築城とともに掘削され、名古屋の物流を担った堀川を名古屋おもてなし武将隊の案内によりクルーズします。

【出発日時】10月23日(土) 14:00白鳥庭園集合

【帰着日時】10月23日(土) 17:00ごろ納屋橋付近で解散

【主催者】COP10支援実行委員会 【定員】20名

【参加費用】集合場所からの移動などについては無料です。※食事なし



A 白鳥庭園

池泉廻遊式庭園で中部地方の地形をモチーフに、築山を「御嶽山」、そこから流れる川を「木曽川」、川の水が注ぎ込む池を「伊勢湾」に見立て、名古屋周辺の源流から大海までの「水の物語」をテーマにした市内随一の規模を誇る日本庭園です。

B ナゴヤ堀川
歴史観光クルーズ

堀川は400年前に名古屋城築城のために掘削された人工の川です。この堀川を、名古屋おもてなし武将隊による名古屋の歴史の解説を聞きながらクルーズします。名古屋おもてなし武将隊は、開府400年に合わせて名古屋の魅力を全国に伝えるため、名古屋にゆかりのある武将6人(織田信長・豊臣秀吉・徳川家康・加藤清正・前田利家・前田慶次)と4陣笠隊で結成したものです。

C 堀川
ウォーターマジック
フェスティバル

堀川と名古屋のメインストリートが交差する納屋橋周辺で開催されるイベントです。堀川開削400年を迎え、今一度名古屋と堀川の歴史や文化を見つめなおし、人々の暮らしを支えてきた「名古屋の母なる川・堀川」の持つ魅力を発見するイベントです。

エクス
カーション

12

生きものと共生する農業と伝統芸能

愛知県東部で生きものと共生する農業をめざしている四谷の千枚田で、日本の原風景を眺めながら散策を楽しみます。

【出発日時】10月23日(土) 8:00出発

【帰着日時】10月23日(土) 18:30帰着予定

【主催者】東海農政局 【定員】30名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。

※事前予約は海外の参加者優先。



A 四谷の千枚田

700年の歴史をもつ山麓に広がる棚田で、美しい日本の原風景、生きものの宝庫として保全、再生を進めています。ゆったり散策し、水田農業と生きものについて理解を深めていただきます。

B 長篠陣太鼓

今から400年以上前にこの地域で行われた大きな戦いの模様が和太鼓で表現しています。地域で大人、子どもを問わず親しまれている勇壮な伝統芸能で楽しく歓迎します。

C 鳳来寺山
自然科学博物館

四谷の千枚田のほか、1931年に国の名勝天然記念物に指定された地域の貴重な景観や自然、その保全のための活動を紹介しています。里山の様々な植物、動物の生態をご覧ください。

エクス
カーション

13

持続可能な森林経営からみる 段戸国有林の生物多様性保全

段戸国有林は御料林(皇室財産であった森林)として、明治時代からスギ・ヒノキの植栽等が行われてきており、現在では面積の9割以上が人工林です。これらの人工林は、適切な森林管理によって、林齢や構成の異なる豊富なバリエーションが見られます。また、愛知県では残り少ないブナ、モミ、ツガなどの自然林がまとまった形で保全されています。現地を管理している林野庁の職員から説明を受けながら、日本の森林の生物多様性保全の取組状況を見ます。

【出発日時】10月24日(日)13:00出発

【帰着日時】10月24日(日)19:00帰着予定

【主催者】林野庁、株式会社日本総合研究所 【定員】50名

【参加費用】集合場所からのバス移動などについては無料です。 ※食事なし



A 段戸国有林
「きららの森」

段戸国有林内の自然観察教育林「きららの森」の散策コースを歩きます。散策コース内では、間伐など計画的な施業をしているヒノキの人工林やブナ、モミ、ツガの自然林など、多様な森林を見ることが出来ます。

B 林内の野鳥
(イメージ)

段戸国有林には多くの種類の野鳥が生息しており、四季を通じて野鳥を観察することができます。

C 段戸湖

晩秋の「きららの森」は紅葉の名所としても知られています。林道入り口にある段戸湖に、四季折々の日本の森林の豊富な木々が織りなす彩りが美しく映えます。

エクス
カーション

14

自然と共生2000年の伊勢神宮と 伊勢志摩のエコツアー

約2000年の歴史を誇る奥深い森に囲まれた伊勢神宮と、伊勢志摩の海の再生や保全など自然との共生を体感するエコツアーです。

【出発日時】10月23日(土) 7:30出発

【帰着日時】10月24日(日)17:00帰着予定

【主催者】三重県・中部地方環境事務所

伊勢市・鳥羽市・志摩市・(社)伊勢志摩観光コンベンション機構 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。



A 伊勢神宮内宮

約2000年の歴史を有する日本古来の最高峰の神社。神宮では、遷宮に必要な用材を生産するため、5,500haの森で生態系の保全に配慮しつつ「200年に及ぶ長伐期の森林づくり」に取り組んでいます。森林文化を未来に引き継ぐ持続可能な森林管理モデルとして高く評価されています。

B 海の博物館見学と
海岸での生きもの
観察

人と海がいかに深く結びつき、ともに生きてきたかを見学した後、周辺の海岸でアマモ場と干潟の生きもの観察を行います。

C 横山ビジター
センター視察と
英虞湾の展望

伊勢志摩国立公園の生物多様性の状況や、自然と共生してきた地域の文化についての講義後、リアス式海岸を展望し、里海創生の取組や森・里・川・海のつながりを実感します。

D 志摩自然学校での
エコツアーリング
体験

志摩自然学校では干潟再生の取組を行っており、その取組は、COP10にあわせて出版される「CBD-Technical Series "Sato-Umi"」の目玉のひとつになっています。干潟をシーカヤックで探してみましょ。

エクスカーション 15 トキを育む生物多様性と歴史文化が息づく島 さど

訪問先の佐渡市では、トキの野生復帰を契機に「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を設け生物多様性に配慮した農業を進め、生態系の再生を環境ブランド米として高付加価値販売を実践しています。

【出発日時】10月23日(土) 6:30出発(名鉄名古屋駅発)

【帰着日時】10月24日(日)22:05帰着予定(名鉄名古屋駅着)

【主催者】新潟県佐渡市 【定員】20名

【参加費用】集合場所からの移動(鉄道、航空機、バス、船舶)や食事、宿泊などについては無料です。



A 野生トキ視察

2008年、2009年に試験放鳥した後に佐渡に定着したトキと、生きものを育む農法により生物多様性に取り組む地域を視察していただきます。(天候などの状況によりトキの視察はキャンセルとなる場合があります。)

B 佐渡トキ保護センター トキ野生復帰ステーション視察

本年11月に3次放鳥を予定しているトキが馴化ケージの中で訓練をしている様子を視察していただきます。

C 佐渡金山の遺産群と相川の町並み

江戸時代に徳川幕府の財政を支えた佐渡金山と、採掘精錬関連の遺跡群や古い景観の残る相川の町並みを散策していただきます。

エクスカーション 16 越中富山の悠久の歴史・文化を辿る ～世界遺産合掌集落、国宝瑞龍寺を訪ねる～

富山県が世界に誇る五箇山合掌造り集落、高岡山瑞龍寺、日本文化の美を鑑賞することができる富山県水墨美術館など、越中富山の歴史と文化に出会えるロマンあふれるコースです。

【出発日時】10月16日(土) 8:00出発

【帰着日時】10月17日(日)18:00帰着予定

【主催者】富山県 【定員】30名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。



A 世界遺産菅沼合掌造り集落

国道156号沿い、庄川右岸に開けたわずかな台地にある9棟の合掌造り家屋。平地区の相倉と並ぶ五箇山の二大合掌造り集落のひとつです。時代を超え、日本人の村の生活の原点を見せてくれます。国指定史跡。1995年に平村相倉合掌造り集落とともに世界遺産に登録されました。

B 国宝 高岡山瑞龍寺

高岡の開祖前田利長公の菩提寺、曹洞宗の名利。三代藩主前田利常公の建立で、壮大な伽藍配置様式の豪壮にして典雅な美しさに圧倒されます。山門、仏殿、法堂が県内で初の国宝指定を受けました。

C 富山県水墨美術館

広大な日本庭園に囲まれたロケーション、南側の離れには本格的数寄屋建築の茶室「墨光庵」もあり、様々な角度から日本文化の精髓を感じとることができる美術館です。当日は、天才浮世絵師である葛飾北斎の生誕250年を記念しての企画展をはじめ、常設展示されている数多くの優れた水墨画を鑑賞いただけます。

エクス
カーション

17

城下町金沢と能登半島の里山里海

加賀百万石が育んだ歴史と文化の城下町金沢と、今も古くからの農山漁村風景が広がる能登半島を巡ります。

【出発日時】10月23日(土) 7:00出発

【帰着日時】10月24日(日)21:00帰着予定

【主催者】石川県 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。

【その他】徒歩で巡る箇所もありますので軽装で参加ください。

料理の一部には肉や魚が含まれることがあります。宿泊はやむを得ず相部屋をお願いすることもあります。

A 金沢城・兼六園
(金沢市)

藩政期からの伝統文化が今に受け継がれる、日本を代表する城下町・金沢。美しい石垣と壮麗な石川門、菱櫓などで知られる金沢城、そして日本三名園のひとつとして名高い兼六園などを巡ります。

B 和倉温泉
(七尾市)

波静かな七尾湾に面して開け、豊富な海の幸に恵まれた温泉郷・和倉温泉。開湯1200年の歴史を誇り、良質なお湯、豊かな自然美が心を和ませる温泉です。

C 能登の里山里海
(能登半島)

古くからの農山漁村風景が今も広がる能登半島。自然と調和した伝統的な生活様式や文化が色濃く残る能登の里山里海を巡ります。

エクス
カーション

18

ラムサール条約湿地三方五湖と
恐竜博物館

ラムサール条約湿地三方五湖や中池見湿地、世界3大恐竜博物館のひとつである福井県立恐竜博物館などを巡ります。

【出発日時】10月23日(土) 8:00出発

【帰着日時】10月24日(日)19:00帰着予定

【主催者】福井県 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。



A 三方五湖

三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖のタイプの違う5つの湖がかもしだす微妙な色あいは神秘的で、梅丈岳の山頂からその違いがよくわかり、五湖と日本海のダイナミックな景観が楽しめます。多様な魚類が生息し、2005年11月にラムサール条約に登録されています。

B 福井県立
恐竜博物館

恐竜化石の宝庫として全国的にその名が知られている勝山市にある、世界有数の規模の博物館です。広大な無柱空間には、所狭しと恐竜骨格や化石・標本、ジオラマ、復元模型などが展示されており、大迫力の恐竜を間近で見ることができます。

C 中池見湿地

敦賀市街地の東部に隣接する広さ約26haの湿地帯で、地下には約40mにも及ぶ泥炭層が堆積しており、そこには十数万年前からの貴重な花粉や果実が保存されています。また、市街地の近傍でありながら希少な動植物が数多く生育、生息し、豊かな生態系を形成しています。

エクス
カーション

19

富士山5合目と八ヶ岳 — 環境・歴史・文化を学ぶ

富士山を遠望する八ヶ岳山麓と富士山5合目を訪れ、山梨の自然や歴史・文化にふれていただきます。

【出発日時】10月23日(土) 7:40出発

【帰着日時】10月24日(日) 19:00帰着予定

【主催者】山梨県 【定員】35名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。



A 富士山

日本一の高さを誇る山で、その周辺には、富士五湖や青木ヶ原樹海をはじめとして火山活動がつくった変化に富む美しい景観が広がっています。その5合目までバスでご案内し、生の富士山を体験していただきます。(悪天候などにより5合目を訪れることができない場合もあります。)

B 富士吉田市 歴史民俗博物館

古来より人々の畏敬を集め、信仰の対象となってきた富士山と周辺地域の歴史・文化にふれることができる博物館です。附属施設として、宝永年間(18世紀頃)に建造されたという民家などもご覧いただけます。

C 八ヶ岳自然 ふれあいセンター

山梨県の北西部、長野県と接する標高1,400mの清里高原、八ヶ岳中信高原国定公園の入口に位置し、八ヶ岳の素晴らしい自然と環境に関わる様々な取組を学んでいただくことができます。

エクス
カーション

20

霧ヶ峰高原と国宝松本城

長野県の中部から南部(中南部地区)の優れた自然と文化的歴史的な施設を訪れます。

【出発日時】10月23日(土) 8:45出発

【帰着日時】10月24日(日) 17:00帰着予定

【主催者】長野県 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。



A 霧ヶ峰高原

長野県の中部、八ヶ岳中信高原国定公園の中央に位置する高原です。周辺集落の人々が採草地として利用することにより維持されてきた半自然草原や天然記念物の湿原、原生的な樹林としての樹叢(じゅうそう)が組みあわさって独自の自然景観を形成しています。なだらかな稜線の美しさは、植物の豊かさとともに霧ヶ峰の魅力のひとつとなっています。

B 松本城

現存する五層天守の中では日本最古であり、その天守群は国宝に指定されています。黒と白のコントラストがアルプスの山々に映えて見事な景観をつくりだしています。

C 木曽地域

木曽地域には、妻籠宿など、かつての中山道の宿場が昔の姿をとどめた文化遺産として保存されています。また、豊かな森林資源を生かした産業が古くから盛んで、木曽漆器をはじめとする数々の伝統的な木工芸も今に伝えられています。

エクス
カーション

21

世界遺産 白川郷と 『岐阜の宝もの』五色ヶ原の森

世界文化遺産である白川郷の合掌造り集落と『岐阜の宝もの』である五色ヶ原の森を巡り、岐阜県の優れた自然や歴史、文化を体験します。

【出発日時】10月23日(土) 7:30出発

【帰着日時】10月24日(日)20:00帰着予定

【主催者】岐阜県 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。



A 世界遺産
白川郷

1995年、ユネスコの世界文化遺産に認定された白川郷は、機能的・景観的にも優れた家屋約110棟が集落を形成しているものです。静かな山村は植物や年中行事などの歳時記にことかかず、春の桜や冬の雪景色など一枚の絵のような光景を一年中あちこちで見ることができます。また、田植え祭りやどぶろく祭りなど、山村の祭りが今も変わらず行われており、季節ごとの彩りの美に癒されます。

B 乗鞍山麓
五色ヶ原の森

中部山岳国立公園の南端にある約3,000haの広大な森林地帯です。清流と滝、湿原・湖沼と草花、原生林と野鳥・動物たちなど、その“宝庫”では、様々な景色や出会いをトレッキング(3時間程度)をしながら楽しむことができます。

エクス
カーション

22

ふじのくに静岡

富士山に代表される静岡県の豊かな自然、久能山東照宮の歴史、お茶の郷の文化などを体験してください。

【出発日時】10月23日(土) 8:00出発

【帰着日時】10月24日(日)19:30帰着予定

【主催者】静岡県 【定員】35名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊については無料です。



A 日本平

正面に霊峰富士、眼下には駿河湾、遠く伊豆や南アルプスが一望でき、日本観光地百選で1位に選ばれたこともある景勝地です。徳川家康ゆかりの史跡「久能山東照宮」を鑑賞後、ロープウェイで日本平山頂へ。日本平ホテルではビュッフェ形式の「サンデーブランチ」をお楽しみください。

B 久能山

江戸幕府をひらいた徳川家康ゆかりの史跡「久能山東照宮」は、桃山時代の影響を受けた建造物で、国の重要文化財に指定されています。併設されている博物館には家康の遺品が多数展示されています。

C 白糸の滝

富士山の雪融け水が、幾年もの歳月を経て地下の溶岩層を巡り、岩の隙間から流れ落ちる水流が滝を形成し、その水流が絹糸のように流れ落ちる様から「白糸の滝」と名付けられています。「日本の滝百選」にも選ばれています。

エクス
カーション

23

動植物の宝庫、自然豊かな 鈴鹿山脈・御在所岳

名古屋市近郊にある三重県菟野町内の「高山」や「里山」における生物多様性の状況を観察します。

【出発日時】10月23日(土) 8:00出発

【帰着日時】10月23日(土) 16:30帰着予定

【主催者】三重県・菟野町 【定員】40名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事などについては無料です。



A 御在所岳山頂での
自然観察・紅葉散策

鈴鹿山脈の主峰をなす御在所岳は、世界的規模を誇るロープウェイが山頂に通じすばらしい山岳公園となっています。山麓には本州の温暖・温帯植物はもとより、日本海側の高山・寒冷植物が混生しており、多種多様な植物が観察される珍しい自然環境を有しています。ロープウェイで登る標高1,212mの山頂からは眼下に伊勢湾が一望でき、東方には愛知県の知多・渥美半島・三重県神島なども見えます。また、天気の良い日には、その向こうに富士山を見ることができ、西方には琵琶湖を見ることもできます。

B 三重県民の森での
里山体験

標高約200m、鈴鹿山脈釈迦ヶ岳の麓に広がる緑豊かな県立の森林公園です。森林公園には、自然の森や生産の森など多様な里山があり、森林浴や自然観察、野鳥観察など四季折々の自然を楽しむことができます。鈴鹿山脈周辺の生物の多様性を解説するとともに、豊かな里山の自然観察を行います。

エクス
カーション

24

琵琶湖畔の水と人との関わりを訪ねて 一農家民泊と水郷巡り

琵琶湖畔の農村に1泊し、日本で最も大きく世界でも屈指の古代湖琵琶湖の魅力と生活文化を体験していただきます。

【出発日時】10月23日(土) 7:30出発

【帰着日時】10月24日(日) 19:00帰着予定

【主催者】滋賀県 【定員】30名

【参加費用】集合場所からのバス移動や食事、宿泊などについては無料です。



A “KABATA”
(屋内にわく水を使
った生活)

普通の民家に宿泊。屋内のわく水を飲み水、洗い場、コイの飼育にも使う昔ながらの滋賀の農家の暮らしを体験していただきます。

B 水郷近江八幡

ラムサール条約の登録湿地で、琵琶湖の原風景でもあるヨシ帯を船で巡ります。

C 琵琶湖博物館と
山門水源の森

世界屈指の淡水魚コレクションで人気の琵琶湖博物館を学芸員の解説で見学します。また、希少種が多く保護区に指定されている湿原で秋の生物を観察します。

名古屋開府400年祭 関連催事

1610年に名古屋城築城や清須越(きよすこし)などにより名古屋のまちづくりが始まったことを名古屋開府と呼び、2010年、名古屋は開府400年の記念の年を迎えました。400年の歴史を祝うとともに、次の100年に向けて新しいまちづくりを始めるべく、「名古屋開府400年祭」と称し年間を通じて市内各地で祭りやイベントが開催されています。

名古屋開府400年記念 第56回名古屋まつり

1955年に始まった名古屋の秋を彩る最大のまつりです。まつりのメインとなる豪華絢爛な行列では、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三英傑が約700人を従えて行進する郷土英傑行列のほか、歴史と伝統に彩られた市指定文化財「山車」揃や市文化財「神楽」揃、華やかなフラワーカーなども登場します。今年はさらに、「大山車まつり」「清須越夢歩き」が実現されます(右ページ)。また、名古屋を代表する無形文化財が一堂に会する郷土芸能祭などの多彩な会場行事や、17日(日)には名古屋城・東山動植物園など名古屋市内13施設の無料開放も行われます。街中がまつり一色に染まる秋の名古屋をお楽しみください。



【開催日】10月16日(土)、17日(日)
 【場 所】名古屋市内中心部ほか、久屋大通公園会場、オアシス21会場など
 【主 催】名古屋まつり協進会 【U R L】<http://www.nagoya-festival.jp/>

大山車まつり

この地方の祭りの特色である「山車」の祭典です。例年名古屋まつりに参加する9輦に加え、今年は特別に緑区の有松・鳴海の4輦が集結し、江戸時代の名古屋のメインストリートだった本町通を豪華絢爛な山車が行列をなします。この大山車まつりは100年前の「開府300年祭」でも行われたという記録が残っており、まさに100年前の再現といえるものです。

【開催日】10月16日(土)
 【場 所】若宮八幡社～名古屋城
 【U R L】<http://www.nagoya400.jp/>



清須越夢歩き

400年前に行われた清須から名古屋への町ぐるみの大移動、いわゆる「清須越」をイメージした市民参加型のウォーキングイベントです。思い思いの格好をした参加者が、夕闇のなか提灯を手にし名古屋城へ向かいます。

【開催日】10月16日(土)
 【場 所】(清州城～)枇杷島公園～名古屋城
 【U R L】<http://www.nagoya400.jp/>

開府400年を迎えた2010年の10月16日(土)、17日(日)は名古屋まつり・大山車まつり・清須越夢歩きが連携しあい、例年以上の賑わいを呈します。100年に一度の記念年。皆さんと一緒に祝いし、名古屋の街を盛り上げましょう。



名古屋城秋イベント

名古屋開府400年と名古屋城本丸御殿玄関の復元過程特別公開を記念して、名古屋城内で多彩なイベントが繰り上げられます。



公開イメージ図



◆本丸御殿玄関の復元過程特別公開
[10月16日(土)～26日(火)]
名古屋城本丸御殿の玄関部分の復元過程を、建物の中に入って見学できます。復元模写された「竹林豹虎図」も展示して、雰囲気を楽しめます。



竹林豹虎図

◆本丸御殿玄関の復元過程特別公開記念イベント

[10月16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)]

本丸御殿をテーマに多彩なステージやブースを設け、本丸御殿と関係の深い自治体・団体と市民が楽しく交流するイベントを開催します。

◆特別展「武家と玄関 虎の美術」[9月25日(土)～11月7日(日)]

本丸御殿玄関障壁画に多くの虎が描かれていたため、玄関の特別公開の時期に、全国から虎の名画を集結した展覧会を開催します。(有料)

◆名古屋城お堀めぐり[10月8日(金)～31日(日)]

築城400年の歴史を物語る石垣や隅櫓などを、手漕ぎの和舟に乗ってお堀の水面からの眺めを楽しめる名古屋城初の取組です。(有料)

◆重要文化財「西北隅櫓」の公開[10月8日(金)～11月23日(火)]

御深井丸に現存する重要文化財「西北隅櫓」の内部を特別公開します。



西北隅櫓



西北隅櫓の内部

◆名古屋大茶会[10月9日(土)～11日(月)]

名古屋城の茶席エリア・特設茶席(二之丸東庭園)で大茶会を開催します。(有料)

◆名古屋城菊花大会[10月17日(日)～11月23日(火)]

西之丸広場で丹精こめて育てられた様々な菊を展示します。



菊人形

◆名古屋開府400年記念「名古屋城菊人形」

[10月16日(土)～11月23日(火)]

菊の花で作られた人形を、名古屋城正門と二之丸広場南で展示します。

◆盆栽展[10月15日(金)～17日(日)]

二之丸(東門から藤棚)に、日本文化のひとつである「盆栽」を展示します。

◆山車からくりの実演[10月17日(日)]

城門でからくり実演の披露があります。

[URL] <http://www.honmaru-palace.city.nagoya.jp>

白鳥庭園関連行事



白鳥庭園ガイドツアー

白鳥庭園一水は物語となって雄大な自然を創り出す。名古屋をつくった母なる大自然への感謝を表わす庭園です。山岳地帯にそびえ立つ御嶽の山々を源流として、多くの谷をつくり、濃尾平野を潤し、多くの人々を養って伊勢湾へ流れる木曾川がつくりだす水の物語、それをとりまく雄大な自然を表現しています。名古屋を代表する造園家による白鳥庭園ガイドツアーや日本文化ガイドツアー、ボランティアによる庭園ガイドに参加して、白鳥庭園の豊富な生態系、そこに住む生き物たちが創り出す美しい景色、そして生き物たちからの声に耳を傾けてみませんか。



COP10開催を祝う茶会

人を招き、お茶を振舞う。お茶を通じて人と人がつながる。「茶会」は日本が古くから大切にしてきた文化です。COP10で名古屋を訪れる国内外のお客様との出会いに感謝。それが「一期一会」One Meeting, One Time. そのひと時を大切に作る心が伝わるお茶会を開催します。

【開催日】ガイドツアー

- 10月17日 日本庭園ガイドツアー
- 10月23日・24日 日本文化ガイドツアー
- 10月11日～29日 白鳥庭園ガイドツアー(14:00～)
- (日本語、英語は毎日。中国語は火・木・金曜日のみ)

茶会

- 10月11日 COP10ウエルカム・ティー・セレモニー in 白鳥庭園
- 10月17日 「和ごころ おもてなし」白鳥庭園市民茶会
- 10月23日・24日 「一期一会」白鳥庭園市民茶会

【料 金】茶会は一席500円(販売数に達し次第終了)

【場 所】白鳥庭園

【U R L】<http://www.shirotori-garden.com>

徳川園市民茶会

大名庭園様式の日本庭園に訪れる秋の風情を感じながら茶会を楽しんでいただけます。

【開催日】10月24日(日)

午前の部10:00～12:00、
午後の部13:00～15:00
(各150名)

【場 所】徳川園内瑞龍亭席・芝点席

【料 金】500円



ナゴヤ堀川歴史観光クルーズ

堀川は、名古屋城の築城と同時に福島正則によって開削されました。それから400年。名古屋城の入口「朝日橋」から「納屋橋」、神話の世界「白鳥」、宿場町として栄えた「宮の渡し」、「名古屋港」を結ぶクルーズを運航します。ゆったりと水上散歩を楽しみながら、400年の歴史ロマンに想いを馳せてみませんか。

【運航期間】10月1日(金)～24日(日)※11日(月・祝)は運休

【場 所】朝日橋～納屋橋～白鳥～宮の渡し～名古屋港

【料 金】500円(1乗船2区間以内)、1日乗船券1,000円

堀川ウォーターマジックフェスティバル

名古屋開府400年、堀川開削400年の節目のこの年に、市民が堀川とともに積み重ねてきた文化にスポットを当てたフェスティバルを開催します。水辺のステージで奏でられる様々な音楽、花で飾られた堀川に浮かぶゴンドラ、名古屋や堀川文化をテーマとした体験型のブースなど、いつもとちょっとちがう水辺空間をお楽しみください。



ゴンドラ体験乗船

音楽祭(イメージ)

【開催日】10月21日(木)～23日(土) 【場 所】堀川 納屋橋周辺

【主 催】堀川ウォーターマジックフェスティバル実行委員会

【U R L】<http://www.horikawa-wmf.com>

東山動植物園エクスカーショ

東山動植物園とくらしの森においてCOP10参加者を対象にしたエクスカーショ(「東山動物園」「東山植物園」「くらしの森」の3コースで各1時間程度)をボランティアの英語通訳付きで開催します。東山動植物園とくらしの森では、都市の中における生物多様性に関わる施設としての使命とそれに向けた実施体制について、将来的な側面も含め現場を見てもらいながら理解していただきます。



【開催日】10月13日(水)～29日(金)(休園日を除く)、各日13:00～14:00実施
 【場 所】東山動物園(動物園正門集合)、植物園(植物園正門集合)、くらしの森(里山の家集合)
 【主 催】東山動植物園
 【U R L】http://www.higashiyama.city.nagoya.jp/index_pc.php
 【備 考】動植物園が公式エクスカーショのコースに含まれる24日には行わない。

生物多様性ツアー ～名古屋から多治見へ～

日本最大級の渡り鳥渡来地であり、今なお豊かな生態系が残る藤前干潟。その保全の決断の背景には名古屋市が多治見市域に持つ最大の処分場「愛岐処分場」の存在がありました。名古屋のごみ処理生命線にある意外な自然や多治見市の歴史・文化を知るツアーに出かけませんか。



撮影：NPO法人藤前干潟を守る会

【開催日】10月24日(日)
 8:30～21:00
 【場 所】白鳥会場発着
 藤前干潟～愛岐処分場～多治見市街を巡ります
 【主 催】名古屋市、多治見市、なごや環境大学
 【U R L】<http://www.n-kd.jp>

藤前干潟ふれあいデー2010

(藤前干潟ラムサールフェスティバル)

藤前干潟ふれあいデーは、2002年に藤前干潟がラムサール条約湿地に登録されたことを記念し開催しているイベントです。今年のテーマは「山・川・里・海 いのちのつながり 藤前干潟」です。藤前干潟や流域のつながりを楽しく知って学んでもらうために、藤前干潟の鳥や生きものの観察会、生物多様性をテーマとしたミュージカル、ワークショップや展示、流域の恵みを食べるブースといった様々な企画を用意しています。今年は、鳥の目線で藤前干潟を見てもらえるよう、熱気球(係留)体験搭乗も実施します(23日のみ(悪天候の場合は24日に順延))。都市部に残った貴重な自然である藤前干潟にぜひお越しください。



【開催日】10月23日(土)、24日(日)
 【場 所】稲永会場(環境省稲永ビジターセンター、名古屋市野鳥観察館)
 藤前会場(環境省藤前活動センター)
 【主 催】「藤前干潟ふれあいデー」実行委員会

名古屋能楽堂定例公演

能が幕府公認の芸能とされた江戸時代、徳川御三家筆頭の尾張藩は、全国でも屈指の能楽が盛んな土地でした。名古屋開府400年に向けて名古屋の歴史・文化を見直そうという気運が高まるなか、名古屋能楽堂では、昨年度より「能・狂言でたどる天下統一の道」をテーマに定例公演の番組を構成し、戦国大名や天下人が実際に鑑賞した能、演じた能をご紹介します。10月公演は、京都二条城で催された家康の將軍宣下祝賀能から能「大江山」をお贈りします。將軍となった家康が、その後幕藩体制を確立する過程で名古屋城の築城と清須からの遷府を正式に決定し、名古屋のまちづくりが始まりました。それから400年、江戸時代の名古屋城に想いを馳せつつ、新しい時代の幕開けを名古屋能楽堂で体感してください。



能「大江山」

【開催日】10月22日(金) 【場 所】名古屋能楽堂 【入場料】4,500円
 【主 催】財団法人名古屋市文化振興事業団(名古屋能楽堂)
 【U R L】<http://www.bunka758.or.jp>

あいちトリエンナーレ2010

COP10後援施設 ★ 別冊地図 k-3

「都市の祝祭 Arts and Cities」をテーマに、国内外130組以上のアーティスト・団体が参加し、現代美術、ダンスや演劇などのパフォーミング・アーツやオペラなどの世界最先端の現代アートをご紹介します。作品の多くはここでしか見られない新作または日本初演で、美術館や劇場のみならず街中へも飛び出し、都市の日常風景の中に魅惑的な光景を出現させます。まさに街を歩くほどに体感できるアートの力。街がまるごとアート空間となるスリリングな都市の祝祭にぜひお出かけください。

【開催日】 8月21日(土)～10月31日(日)〈72日間〉

【場 所】 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場など

【主 催】 あいちトリエンナーレ実行委員会

【U R L】 <http://aichitriennale.jp/>



草間彌生(真夜中に咲く花) ©Yayoi Kusama, Yayoi Kusama Studio Inc. Courtesy of Gagosian Gallery / Ota Fine Arts



蔡國強(Wind Shadow) 2006 Courtesy of Cai Studio



スティーン・コーヘン (Chandelier) ©John Hogg

三沢厚彦 + 豊崎秀樹 (Animal2007-03(白クマ)と白い小屋)「ANIMALS+」展、平塚市美術館での展示 ©Atsuhiko Misawa

第4回

人と自然の共生国際フォーラム



Katsuo SATO Forum

人と自然の共生国際フォーラムは、2005年に開催された愛・地球博の理念や成果を継承し、人と自然が共生する持続可能な社会づくりをめざして、2007年から毎年、全10回の予定で開催しています。第4回となる今回は、「生物多様性から人と自然の共生を考える ～COP10に向けて森林・里山からの発信～」をテーマに、基調講演やパネルディスカッションを開催します。このフォーラムで「生物多様性」を感じ、学び、私たちにできること、伝えていくべきことを一緒に考えませんか。



前回の様子

【開催日】 10月16日(土) ポスターセッション(17日も)

10月17日(日) 事例発表会・基調講演・パネルディスカッション

【場 所】 愛知県産業労働センター

【主 催】 人と自然の共生国際フォーラム実行委員会

【U R L】 <http://www.mu-academy.jp/daigaku/>

第4回

日伊共同セミナー

海洋生物に対する物理的・化学的インパクトと生物多様性・持続可能性

生物多様性ホットスポットに含まれている日本とイタリア。異なった環境特性をもつ地域としての両国を中心とした研究交流は、多様な海洋環境での汚染の生物影響に関する研究発展に大いに寄与すると期待されます。今回のセミナーでは、海洋生物に対する環境影響の研究分野で著名な研究者を日伊両国以外からも招聘し、これまでの研究課題に加えて、地球温暖化による海水温上昇、二酸化炭素増加による海水pH低下の海洋生物に対する影響などの課題も取り上げて、地球の生物生産力の大きな要素である海洋生物の現状と今後について研究発表と討論を行います。

【開催日】 10月25日(月)、26日(火) 【場 所】 愛知県立大学学術文化交流センター

【言 語】 英語(通訳なし)

【主 催】 愛知県立大学 【後 援】 日本学術振興会、イタリア学術研究会議、駐日イタリア大使館

【U R L】 <http://www.aichi-pu.ac.jp/ist/bsij2010/>

COP10発表・交流事業 in モリコロパーク

「地球のいのち・交流ステーション」 ～ 未来へつなげよう! 愛・地球 ～

COP10を契機として、生物多様性に配慮した地域づくりを推進していくことを目的に開催します。地球市民交流センターに愛知県内の市町村などが集い、様々な生物多様性に関する取組・活動や地域の特性・魅力などを発信し、楽しみながら生物多様性や自然の大切さについて学び、体感できるプログラムを展開します。



【開催日】 10月9日(土)～10月29日(金)

※常設展示以外のプログラムは土日のみ開催

【場 所】 愛・地球博記念公園地球市民交流センター 【主 催】 愛知県

「植樹イベント「モンゴリ森守プロジェクト」

フレンドシップ広場では、植樹イベント「モンゴリ森守プロジェクト」を開催します。子どもたちがどんぐりから育ててきた苗木を公園内に植えます。

【開催日】 10月9日(土)、16日(土)、17日(日)、
23日(土)、24日(日)
9日と16日はどなたでも植樹に参加することが出来ます。

【場 所】 愛・地球博記念公園フレンドシップ広場



「もりの学舎」

愛・地球博記念公園内にある愛知県の環境学習施設です。昔ながらの木造校舎をイメージして建てられた建物の中では、自然体験や工作などを通じて楽しみながら環境について学ぶことができます。土・日・祝日には、インタープリターによる自然体感プログラムを無料で楽しむことができます。



【開館時間】 9:00～17:00 【休館日】 10月12日(火)、18日(月)、25日(月)

【場 所】 愛・地球博記念公園

【U R L】 <http://www.aichi-karkyo-gakushu-plaza-unet.ocn.ne.jp/annai/field/aep02200.html>

COP10開催に合わせ、周辺の県有施設などでも生物多様性に関する取組などが実施されます。

取組実施施設	あいち海上の森センター、愛知県陶磁資料館、愛知県農業総合試験場、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知県口論義運動公園
--------	--

愛知・名古屋は、生物多様性条約の目的の達成、さらには持続可能な社会の実現に向けた第一歩として、COP10の「Greening」に取り組めます。その特徴的な取組を紹介します。



輸送

シャトルバスの運行に代え、地下鉄全線を無料で利用できる乗車券を交付します。車両輸送を必要最小限に抑え、環境にやさしい公共交通機関の利用を促進します。



地下鉄乗車券

関係者の移動用車に、燃料電池自動車とプラグイン・ハイブリッド車を提供します。

燃料電池自動車は、走行時に排出ガスを全く出さず、排出されるのは水だけのため究極のエコカーといわれています。



燃料電池自動車

プラグイン・ハイブリッド車は、家庭用電源から充電ができ、近距離は電気自動車として、中長距離はハイブリッド車として走行できるため、電池切れや充電インフラを心配する必要がないストレスフリーな車です。



プラグイン・ハイブリッド車

宿泊

ISO14001等の環境認証を取得しているなど、環境にやさしい活動に取り組んでいる名古屋市内のホテルを「COP10環境配慮認証ホテル」として認定し、PRします。

特製バナー



製品・サービスの調達と利用

コングレス・バッグは、素材の選定から製品の設計、製造（物流）を通じ、環境に配慮したものとします。生地にはバイオマス資源（植物など）を原料とするポリ乳酸を使用し、設計にあたっては長期使用設計（ロングライフデザイン）を実施します。また、生地の製造から組立、配布までを一貫して国内で行い、物流に係るCO₂の抑制にも努めます。



コングレス・バッグ

JAPAN

国名等表示プレート

国名等表示プレートや会場内のベンチを、間伐材を使用して製作します。これらの製作は親子参加型の体験イベント（「木づかいでCOP10」）として実施し、里山の保全と生物資源の持続可能な利用について知り・学び・体感する機会とします。

エネルギーとカーボン・オフセット

コングレス・バッグの製造やレセプションの実施、「生物多様性交流フェア」の開催に伴い発生する温室効果ガスについてオフセットします。オフセットには、愛知県内の太陽光発電によるグリーン電力証書のほか、J-VER制度によるクレジット（国内の排出削減・吸収活動によるクレジット）のうち、トキの森プロジェクト^{※1}と住友林業の社有林プロジェクト^{※2}によるクレジットを活用します。

※1 2008年に放鳥された国際保護鳥トキの生息環境向上や豊かな森林生態系保全への寄与を目的としたプロジェクトです。
 ※2 J-VER制度の中では数少ない、持続可能な森林施業による長期的なCO₂吸収量の確保を目的としたプロジェクトに位置付けられています。なお、クレジットは住友林業株式会社からの寄付によるものです。



国際保護鳥トキ



住友林業の九州社有林

飲食の提供

ベジタリアンや宗教上の事情に配慮することに加え、地産地消（地元の食材を使用すること）や旬菜旬食（旬の食べ物を旬の時期に食べること）、地域の特色ある料理の提供に心がけます。

名古屋の水道水を飲用に供し、その安全性やおいしさをPRすることに加え、水の運搬などに係るエネルギーを節約します。また、ウォーターサーバーやタンブラーの使用を通じて、使い捨て飲用容器の使用を抑えます。

ウォーターサーバー



廃棄物

記念品として、繰り返し飲用に使用できるタンブラーを配布し、使い捨て容器削減に向けた姿勢をPRします。

タンブラー



COP10会場ではごみの11分別に取り組みます。名古屋のごみ分別に取り組みむことを通じて、廃棄物の減量・リサイクルに取り組みます。

可燃ごみ		プラスチック製容器包装	
		紙製容器包装	
不燃ごみ		新聞	
空きびん		古OA用紙	
空き缶		紙段ボール	
ペットボトル		雑誌	
合計11分別			

COP10では、会議に参加される方々だけでなく、会議・イベントに関わる全ての人に環境配慮の取組に対する理解と協力を呼びかけ、取組の着実な実施を図ります。そして、COP10の開催を契機に、環境にやさしい取組が地域に根付き、広がっていくことをめざします。

詳しくは http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/committee/kankyo_haiyo.html

コングレス・グッズと記念品

今回、皆さまにお届けするコングレス・グッズと記念品は、環境面と使いやすさ、そして日本らしさを追求した逸品揃いです。愛知・名古屋のこだわりをご紹介します。

コングレス・バッグ

素材の選定から製品の設計、製造を通じ、環境面にとことんこだわりました。色調は日本の伝統色である紺色とし、日本らしさが感じられるようにしました。



タンブラー

飲料容器として繰り返し使用いただくことで、使い捨て容器の削減につながります。容器の表面部分には、愛知・名古屋の子どもたちが環境保全への想いを絵画やメッセージで表現しています。世界に同じものは2つないオリジナルなものです。



USBメモリ

紙の使用を抑制するとともに、データ整理や持ち運びにも便利なUSBメモリ。この中には、愛知・名古屋の魅力を紹介する映像が入っています。会議関係のデータと合わせて、この地域の恵まれた自然と生物の多様性、そこから生まれる豊かな伝統文化やものづくりなど、COP10開催地の魅力と思い出をこのUSBメモリとともにお持ち帰りください。

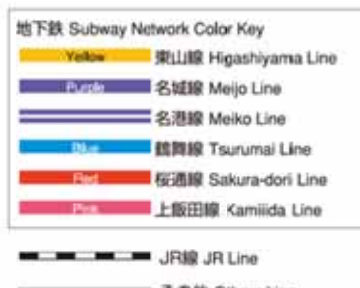
手ぬぐい

日本手ぬぐいは日本古来の織物です。木綿でできた手ぬぐいは、タオルや皿拭きとしてだけでなく、ラッピングやバッグの代わりなど、アイデア次第で多目的に活用できる環境にやさしい日本の知恵です。手ぬぐいの伝統柄のひとつである「青海波(せいかいは)」をモチーフにしています。



レポート用紙、メモ用紙、ペン

レポート用紙とメモ用紙には全て再生紙を使用しています。印刷に利用した大豆インクは、従来の石油溶剤インクに比べて生分解されやすく、リサイクルに適したものです。温度変化によりインクを無色にする「フリクションインキ」を搭載した新発想のボールペンとともにお届けします。



A 藤が丘～愛・地球博記念公園
Fujigaoka -
Ai・Chikyuhaku Kinen Koen



 太田川-中部国際空港
Otagawa -
Central Japan International Airport



※準急以上の停車駅

地下鉄の利用方法

地下鉄の乗車券

SUBWAY PASS for CBD COP10 「地下鉄全線多日乗車券」

通用期間
2010.10.00
|
2010.10.00

記載の期間中有効です。
(yyyy.mm.dd-yyyy.mm.dd)

受け取ったらすぐに
署名してください。
(署名者のみ有効)

矢印の方向にお入れください

名古屋交通局

自動改札機にはこちらから挿入します。(乗車券の取り忘れにご注意ください。)

利用

記載の期間中、地下鉄を何度でもご利用いただけます。紛失しても再発行はできませんので、大切に使用してください。また、拾われた方は拾得物デスク(2号館1F)までお届けください。

利用範囲

乗車券は地下鉄線のみ有効です(P88-89の地下鉄路線部分)。JRや名鉄、近鉄、リニモ、あおなみ線にはご乗車いただけませんのでご注意ください。また、バスもご利用いただけません。

受取

登録手続時に、会議の登録状況に応じた乗車券をお渡しします。乗車券を受け取ったら、その場ですぐに署名してください。MOP5とCOP10両方に同一カテゴリーで参加される方には、COP10の終了まで有効な乗車券をお渡しします。異なるカテゴリーで参加される方(例: MOP5にオブザーバー、COP10に締約国として参加)には、MOP5の登録時にMOP5の期間中有効な乗車券を、COP10の登録時にCOP10の期間中有効な乗車券をお渡しします。COP10の乗車券をお渡す際、MOP5の乗車券は回収させていただきます。

注意事項

- 署名者以外が使用したときは、乗車券は無効として回収され、所定の増料金等が課されます。
- 他人への譲渡・転売等はできません。
- 係員から請求があったときは提示してください。

地下鉄の乗り方

入 口

地下鉄の入口には、地下鉄のマークと駅名が表示されています。



改 札

全ての駅に自動改札機があります。乗車券を矢印の方向から入れて改札を通り抜けてください。改札を抜ける時に、乗車券を取り忘れないようご注意ください。



出 口

最寄りの出口は、改札付近にある駅周辺の地図と出口案内で確認できます。

※名古屋国際会議場への最寄出口
日比野駅:出口1 西高蔵駅:出口2



利用にあたっての注意

名城線は、金山駅で名城線と名港線に分岐します。行先によっては金山駅で乗り換えが必要になります。

主な行先 (栄方面からの場合)	ご利用の電車	
	名古屋港行き	左回り
日比野駅、名古屋港駅	そのまま ご利用いただけます。	金山駅で名古屋港行きに 乗り換えてください。
西高蔵駅、新瑞橋駅、 八事駅	金山駅で左回りに 乗り換えてください。	そのまま ご利用いただけます。

「女性専用車両」が運行されています(東山線)

東山線では、平日の朝と夕の時間帯に女性専用車両が運行されています。運行時間は、平日の始発から午前9時までと、夕方17時から21時までです。対象車両のホームの床と車内には次の表示がありますのでご注意ください。

女性専用乗車口
Boarding Point for Women-Only Car

始発～9:00まで
From first train until 9:00

平日
Weekdays 17:00～21:00まで
From 17:00 until 21:00

東山線全線 Entire Higashiyama Line

女性専用車両
Women-Only Car

女性専用車両は、以下のお客様にもご利用いただけます。

- 女性のお客様に同伴される小学6年生以下の男性のお子様。
- 身体の不自由なお客様と介護者のどちらかが女性の場合に同伴される男性のお客様。

平日 | 始発～9:00まで 17:00～21:00まで
Weekdays | From first train until 9:00 From 17:00 until 21:00

区間/東山線全線 Entire Higashiyama Line

地下鉄最終電車のご案内

駅名	方面	時刻	備考
		(平日・土・日・祝日)	
日比野	①金山・栄	00時02分*、00時12分*	*金山行
西高蔵	②金山・栄	00時06分、00時23分*	*金山行
金山	③栄	00時08分	
栄	④名古屋	00時02分、00時16分	
伏見	⑤栄	00時09分	
	⑥名古屋	00時04分、00時17分	
名古屋	⑦栄	00時07分	

メッセナゴヤ2010、
藤前干潟へのアクセス

あおなみ線「名古屋」駅から乗車し、藤前干潟の場合は「野跡」駅、メッセナゴヤの場合は「金城ふ頭」駅で下車してください。
(その他沿線施設:荒子観音「荒子」駅下車)

乗車券

あおなみ線「名古屋」駅でIDカードを提示いただくことで、あおなみ線の乗車券をお渡しします。
1枚であおなみ線を2回ご利用いただけます。

乗車券の受取

あおなみ線「名古屋」駅のCOP10案内所(P97)でIDカードを提示してください。
必要な枚数の乗車券をお渡しします。

乗り方

自動改札機に乗車券を入れて改札を通り抜けてください。
改札を抜ける時に、乗車券を取り忘れないようご注意ください。



愛・地球博記念公園へのアクセス

リニモ「藤が丘」駅から乗車し、「愛・地球博記念公園」駅で下車してください。

(その他沿線施設:トヨタ博物館「芸大通」駅下車
愛知県陶磁資料館「陶磁資料館南」駅下車)

乗車券

リニモ「藤が丘」駅でIDカードを提示いただくことで、リニモの一日乗車券をお渡しします。
発行日に限り、リニモを何度でもご利用いただけます。

乗車券の受取

【土・日曜日】リニモ「藤が丘」駅のCOP10案内所(改札機向かい)でIDカードを提示してください。
【平日】リニモの「藤が丘」駅の改札で、駅員にIDカードを提示してください。

乗り方

自動改札機に一日乗車券を入れて改札を通り抜けてください。
改札を抜ける時に、乗車券を取り忘れないようご注意ください。



中部国際空港からのアクセス

名鉄「中部国際空港」駅から乗車し、「金山」駅または「名古屋」駅で下車してください。

乗車券

チケット交換所に「名鉄チケット引換証」を持参いただくことで、名鉄の乗車券をお渡しします。
「中部国際空港」駅から「金山」駅/「名古屋」駅までの間を無料でご利用いただけます。
(特別車には指定席券(350円)が別途必要です。)

乗車券の受取

中部国際空港、名鉄「名古屋」駅、名鉄「金山」駅にあるチケット交換所(P96・97)に「名鉄チケット引換証」を提出してください。
「名鉄チケット引換証」は、COP10宿泊予約センター(CAC:COP10 Accomodation Center)へEメール(cop10@or.knt.co.jp)で申請してください。

乗り方

自動改札機に名鉄の乗車券を入れて改札を通り抜けてください。
乗車駅では、改札を通り抜ける時に乗車券を取り忘れないようご注意ください。
降車駅では乗車券は回収されます。

時刻表(中部国際空港 → 金山、名古屋) ※主な列車を記載

【平日】

種別	行先	中部国際空港 発	金山 着	名古屋 着
準急	岐阜	5:24	6:04	6:10
急行	佐屋	6:13	6:56	7:01
準急	岐阜	6:39	7:27	7:34
特急	金山	6:52	7:25	-
ミュースカイ	名古屋	7:08	7:41	7:46
急行	岐阜	7:14	7:56	8:01
急行	岐阜(※1)	7:31	8:15	8:23
特急	須ヶ口	7:40	8:18	8:25
ミュースカイ	岐阜	8:10	8:43	8:50
急行	一宮	8:23	9:04	9:09
ミュースカイ	新鶴沼	8:34	9:07	9:12
準急	新可児	8:48	9:35	9:40
ミュースカイ	岐阜	9:07	9:31	9:35
特急	岐阜	9:17	9:49	9:54
準急	新可児	9:22	10:05	10:10
ミュースカイ	新鶴沼	9:37	10:01	10:05
特急	岐阜	9:47	10:19	10:24
準急	新可児	9:52	10:35	10:40
16時台まで9時台に同じ(※2)				
ミュースカイ	岐阜	17:06	17:31	17:35
特急	岐阜	17:14	17:49	17:54
準急	新可児	17:21	18:05	18:10
ミュースカイ	新鶴沼/新可児	17:36	18:01	18:05
特急	岐阜	17:44	18:19	18:24
準急	新可児	17:51	18:35	18:40
19時台まで17時台に同じ(※3)				
ミュースカイ	岐阜	20:07	20:31	20:35
特急	岐阜	20:17	20:49	20:54
準急	新可児	20:22	21:05	21:10
ミュースカイ	新鶴沼/新可児	20:37	21:01	21:05
特急	岐阜	20:47	21:19	21:24
準急	新可児	20:52	21:35	21:40
21時台は20時台に同じ				
ミュースカイ	岐阜	22:07	22:31	22:35
特急	新鶴沼	22:17	22:49	22:54
急行	新鶴沼	22:26	23:07	23:12
急行	新鶴沼	22:39	23:26	23:31
特急	岐阜	22:47	23:19	23:24
急行	新鶴沼	23:13	23:52	23:56
快速急行	金山	23:32	0:03	-

(※1) 犬山経由

(※2) 16時の準急は22分と51分発

(※3) 19時の準急は21分と52分発

【土・日・祝日(10/11)】

種別	行先	中部国際空港 発	金山 着	名古屋 着
準急	岐阜	5:24	6:05	6:11
急行	金山	6:16	6:54	-
急行	岐阜	6:32	7:16	7:25
特急	新鶴沼	6:51	7:25	7:30
急行	新鶴沼	7:05	7:53	7:57
ミュースカイ	岐阜	7:13	7:45	7:49
準急	新可児	7:21	8:05	8:10
ミュースカイ	新鶴沼	7:28	8:01	8:05
特急	岐阜	7:47	8:19	8:24
準急	新可児	7:51	8:35	8:40
ミュースカイ	岐阜	7:59	8:31	8:35
特急	岐阜	8:17	8:49	8:54
準急	新可児	8:21	9:05	9:10
ミュースカイ	新鶴沼	8:29	9:01	9:05
特急	岐阜	8:47	9:19	9:24
準急	新可児	8:52	9:35	9:40
ミュースカイ	岐阜	9:07	9:31	9:35
特急	岐阜	9:17	9:49	9:54
準急	新可児	9:22	10:05	10:10
ミュースカイ	新鶴沼	9:37	10:01	10:05
特急	岐阜	9:47	10:19	10:24
準急	新可児	9:52	10:35	10:40
21時台まで9時台に同じ(※1)				
ミュースカイ	岐阜	22:07	22:31	22:35
特急	岐阜	22:17	22:49	22:54
急行	新鶴沼	22:26	23:07	23:12
急行	新鶴沼	22:39	23:26	23:31
特急	岐阜	22:47	23:19	23:24
急行	新鶴沼	23:13	23:52	23:56
快速急行	金山	23:32	0:03	-

(※1) 17:37、18:37、19:37、20:37発のミュースカイは新鶴沼/新可児行
20:52発の準急は犬山行

ミュースカイ：全ての車両が特別車

特急：一部の車両が特別車

特別車に乗りするには、駅で指定席券(350円)を
購入する必要があります。

時刻表(名古屋、金山 → 中部国際空港) ※主な列車を記載

【平日】

種別	名古屋 発	金山 発	中部国際空港 着
急行	-	5:15	5:53
急行	5:23	5:27	6:06
快速急行	5:36	5:40	6:12
準急	5:43	5:48	6:29
ミュースカイ	6:02	6:08	6:34
特急	6:07	6:12	6:44
急行	6:15	6:22	7:00
ミュースカイ	6:30	6:34	7:02
急行	6:32	6:36	7:16
特急	-	6:48	7:21
急行	6:53	6:57	7:37
準急	7:02	7:07	7:53
ミュースカイ	7:09	7:13	7:38
特急	7:17	7:21	7:55
急行	7:23	7:30	8:14
特急	-	7:43	8:16
急行	7:44	7:48	8:33
ミュースカイ	7:57	8:02	8:29
急行	8:05	8:11	8:53
ミュースカイ	-	8:19	8:49
急行	8:28	8:32	9:11
急行	8:38	8:42	9:21
ミュースカイ	8:51	8:56	9:22
特急	9:03	9:07	9:41
準急	9:15	9:19	10:03
ミュースカイ	9:20	9:24	9:48
特急	9:31	9:35	10:06
準急	9:45	9:49	10:33
ミュースカイ	9:50	9:54	10:18
特急	10:01	10:05	10:36
準急	10:15	10:19	11:03
ミュースカイ	10:20	10:24	10:48
特急	10:31	10:35	11:06
準急	10:45	10:49	11:33
ミュースカイ	10:50	10:54	11:18
20時台まで10時台に同じ(※1)			
特急	21:01	21:05	21:36
準急	21:15	21:19	22:03
ミュースカイ	21:20	21:24	21:48
特急	21:31	21:35	22:06
準急	21:45	21:49	22:32
特急	22:01	22:05	22:36
準急	22:15	22:19	23:02
急行	22:45	22:49	23:28
急行	23:15	23:19	23:59

(※1) 17~19時台の特急は到着が2分遅れ

【土・日・祝日(10/11)】

種別	名古屋 発	金山 発	中部国際空港 着
急行	-	5:15	5:53
急行	5:23	5:27	6:06
快速急行	5:36	5:40	6:12
準急	5:42	5:46	6:28
ミュースカイ	6:02	6:07	6:32
特急	6:07	6:12	6:44
急行	6:16	6:20	6:59
ミュースカイ	6:30	6:34	7:02
急行	6:32	6:36	7:17
特急	-	6:48	7:20
ミュースカイ	5:53	6:57	7:23
特急	7:01	7:05	7:37
準急	7:15	7:19	8:03
ミュースカイ	7:20	7:24	7:48
特急	7:31	7:35	8:06
準急	7:45	7:49	8:33
ミュースカイ	7:50	7:54	8:18
特急	8:01	8:05	8:36
準急	8:15	8:19	9:03
ミュースカイ	8:20	8:24	8:48
特急	8:31	8:35	9:06
準急	8:45	8:49	9:33
ミュースカイ	8:50	8:54	9:18
20時台まで8時台に同じ			
特急	21:01	21:05	21:36
準急	21:15	21:19	22:03
ミュースカイ	21:20	21:24	21:48
特急	21:31	21:35	22:06
準急	21:45	21:49	22:33
特急	22:01	22:05	22:36
準急	22:15	22:19	23:02
急行	22:45	22:49	23:28
急行	23:15	23:19	23:59

ミュースカイ：全ての車両が特別車

特急：一部の車両が特別車

特別車に乗りするには、駅で指定席券(350円)を
購入する必要があります。

案内所

中部国際空港と名古屋市内主要駅に案内所を開設しています。交通案内などにご利用ください。

主な設置場所及び開設時間

設置場所	業務時間
中部国際空港	アクセスプラザ、国際線到着ロビー、国内線到着ロビー
名古屋駅	JR中央コンコース、名鉄西改札口、 地下鉄東山線南改札口、地下鉄東山線中改札口
地下鉄栄駅	東山線東改札口・西改札口
金山総合駅	JR改札口と名鉄改札口の間

〈中部国際空港 到着ロビー(国際線・国内線)〉



〈アクセスプラザ〉



〈名古屋駅 JR〉



〈名古屋駅 名鉄〉



〈金山総合駅〉



凡 例

- ★ COP10案内所
- ★ チケット交換所
- ❓ インフォメーション
- 🚗 エレベーター
- 🚶 エスカレーター
- 🚶 階段
- 🚶 改札口
- 🗳️ コインロッカー
- 🚻 トイレ
- 🚗 タクシー乗場

タクシーの乗り方(外国人向け)

タクシーに乗るには、道で手を挙げてタクシーを止めるか、タクシー乗り場へ行くか、タクシー会社に直接電話します。

- 1** フロントガラスの右下に「空車」のサインが出ていれば乗車できます。



- 2** 後部座席のドアは自動で開きますので、自分で開ける必要はありません。

- 3** タクシーの料金は、基本料金のほか、時間と距離に応じて決まります。平均的な初乗運賃は1.3kmまで500円です。料金は運転手左側のメーターに表示されます。深夜乗車や配車の場合は一定の料金が加算されます。



主なタクシー会社

名鉄タクシー
052-331-2211

近鉄タクシー
0120-758-881

つばめタクシー
052-203-1212

※英語対応できない場合があります。 ※氏名、配車場所、配車時間、台数を正確に伝えてください。

「路上禁煙地区」での喫煙は禁止されています

違反者は過料2,000円



人ごみでの喫煙は、周囲の人にとって、やけどの恐れや衣服を焦がすなどとても危険な行為です。名古屋では、名古屋駅・栄・金山・藤が丘の4地区が、喫煙が禁止されている「路上禁煙地区」に指定されています。

地図中 ■ が路上禁煙地区です

【名古屋駅地区 禁煙ロード】



【藤が丘地区 禁煙ロード】



【栄地区 禁煙ロード】



【金山地区 禁煙ロード】



「路上禁煙地区」では、道路上でたばこを吸うことが禁止されています。歩きながらや自転車に乗っているときはもちろん、立ち止まってもたばこを吸うことはできません。また、火のついたたばこを持つこともできません。違反者には2,000円の過料が科せられます。公共の場所を安全で快適なものにするため、ご協力をお願いします。



■ Greeting(あいさつ)

English(英語)	Roman alphabet(ローマ字)	Japanese(日本語)
Yes./No.	Hai./Iie.	はい。/いいえ。
Please./Thank you.	Onegai shimasu./Arigatou.	お願いします。/ありがとう。
Sorry./Excuse me.	Sumimasen.	すみません。
Thank you.	Arigatou.	ありがとう。
No, thank you.	Kekkou desu, irimasen.	けっこうです、いりません。
Good morning.	Ohayou gozaimasu.	おはようございます。
Good afternoon./Hello.	Konnichiwa.	こんにちは。
Good evening.	Konbanwa.	こんばんは。
Nice to meet you.	Hajimemasite.	はじめまして。
My name is ~.	Watashi no namae wa ~ desu.	私の名前は～です。
See you tomorrow.	Mata ashita.	また明日。
Good bye.	Sayounara.	さようなら。

■ In the bank and the exchange place(銀行・両替所で)

I'd like to change this into Japanese yen, please.	Nihon yen ni ryougae shite kudasai.	日本円に両替してください。
Small change, please.	Kozeni ni shite kudasai.	小銭にしてください。
Is there any charge?	Tesuuryo ga kakari masuka?	手数料がかかりますか？

■ At the hotel (ホテルで)

I have a reservation.	Yoyaku shite arimasu.	予約しております。
Would you keep my luggage?	Nimotsu wo azukatte kudasai.	荷物を預かってください。
Is there a business center/fax machine/PC?	business center/fax/pasokon wa ari masuka?	ビジネスセンター/ファックス/パソコンはありますか？
Please wake me up at 7:00 tomorrow morning.	Ashita asa 7ji ni okoshite kudasai.	明日朝7時に起こしてください。
What is this charge for?	Kono ryoukin wa nan desuka?	この料金は何ですか？
I'd like to stay one more day.	Mou ippaku sitai desu.	もう一泊したいです。
Where is the nearest bank/phone box/cash machine/convenience store?	Ichiban chikai ginko/koshu denwa/ATM/konbini wa doko desuka?	一番近い 銀行/公衆電話/ATM/コンビニはどこですか？

■ At the station(駅で)

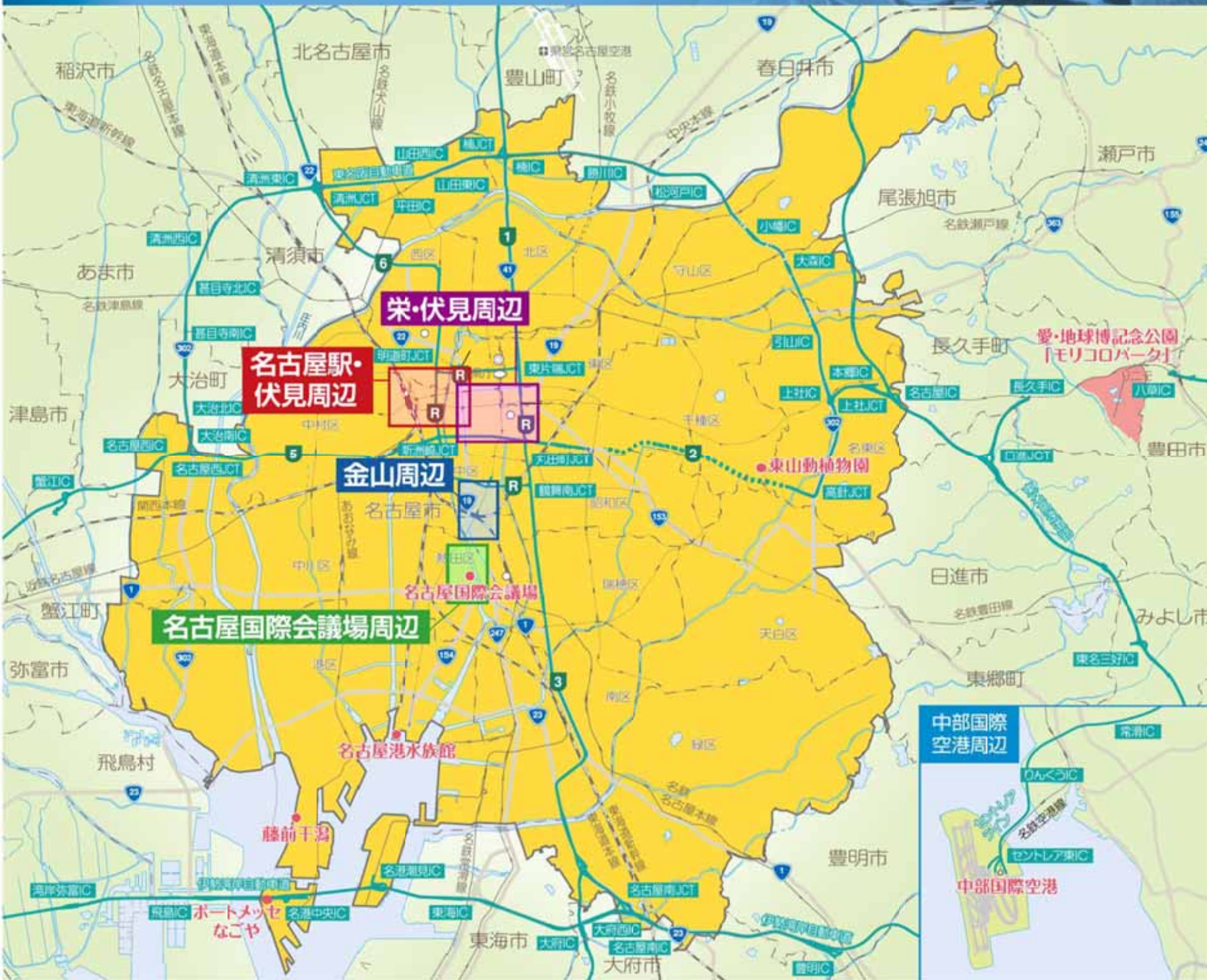
English(英語)	Roman alphabet(ローマ字)	Japanese(日本語)
Could you tell me how to get to the airport?	Kuukou ewa dou ikeba ii desuka?	空港へはどう行けばいいですか？
Does this train go to the Nagoya station?	Kono densha wa Nagoya-eki ni iki masuka?	この電車は名古屋駅に行きますか？
How long is this ticket valid for?	Kono kippu wa itsumade tsukae masuka?	この切符はいつまで使えますか？
I'd like to go to my hotel.	Hotel e ikitai desu.	ホテルへ行きたいです。
Where should I change?	Dokode norikaereba ii desuka?	どこで乗り換えればいいですか？

■ In the restaurant(レストランで)

Do you know a reasonably-priced place with good Japanese food?	Tegoro na nedan no washoku no mise wo shitte imasuka?	手頃な値段の和食の店を知っていますか？
Can I have the menu, please?	Menyu wo kudasai.	メニューをください。
Do you have any local specialties/vegetarian dishes?	Jimoto no ryouri/Beitarian ryouri wa ari masuka?	地元の料理/ベジタリアン料理はありますか？
Can you tell me what's in this dish?	Kono ryouri ni wa naniga haitte irunoka oshiete kudasai.	この料理には何が入っているのか教えてください。
What does it taste like?	Kore wa donna aji desuka?	これはどんな味ですか？
How much is it?	Ikura desuka?	いくらですか？
Where is the restroom?	Otearai wa doko desuka?	お手洗いはどこですか？
Where do I pay?	Dokode haraeba ii desuka?	どこで払えばいいですか？
How much should I tip?	Tip wa ikura desuka?	チップはいくらですか？
Can I pay by credit card?	Credit card wa tsukae masuka?	クレジットカードは使えますか？

■ Emergency(緊急時)

Help!/Watch out!	Tasukete!/Abunai!	助けて!/危ない!
I feel sick.	Kibun ga warui desu.	気分が悪いです。
I have a headache/stomachache/toothache.	Atama/Onaka/Ha ga itai desu.	頭/お腹/歯が痛いです。
Please call a doctor/police.	Ishya/Keisatsu wo yonde kudasai.	医者/警察を呼んでください。
I've lost my passport/bag/wallet.	Passport/Kaban/Saifu wo nakusi masita.	パスポート/カバン/サイフを無くしました。
Do you speak English?	Eigo wo hanase masuka?	英語を話せますか？



名古屋駅・伏見周辺
(P104・105)



栄・伏見周辺
(P106・107)



金山周边
(P108)



名古屋国際会議場周辺
(P109)



名古屋駅・伏見周辺



伏見・栄周辺



金山周辺



名古屋国際会議場周辺

